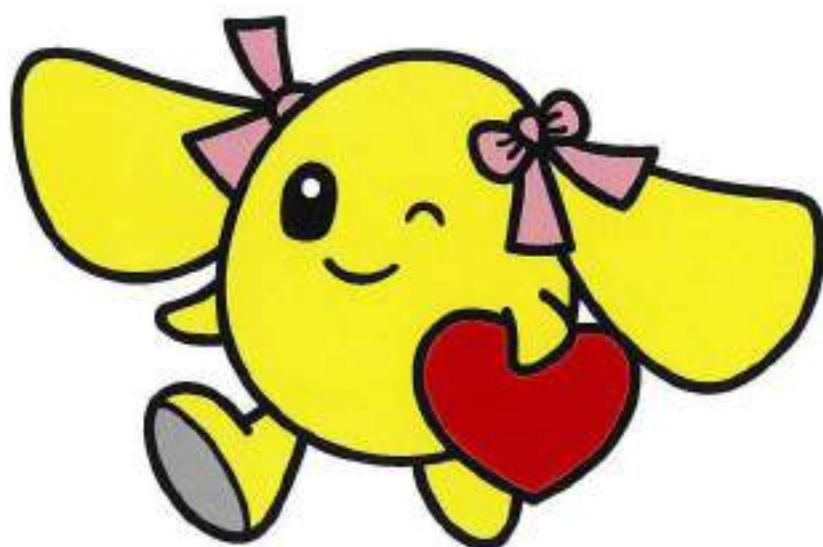


令和4年度

事業報告書



マスコットキャラクター ふくびい

理事会承認 令和5年5月24日

定時評議員会承認 令和5年6月9日

社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会

## 目 次

概 況	1
Ⅰ. 社会福祉事業	
1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業	
(1) 地域福祉事業	13
(2) 成年後見支援事業	16
(3) 共同募金配分金事業	19
(4) ボランティアセンター事業	22
3. 小口資金貸付事業	26
4. 受託事業	
(1) 福祉サービス利用援助事業	27
(2) 生活困窮者自立支援事業	29
(3) 生活福祉資金貸付事業	32
(4) 北部地域包括支援センター運営事業	33
(5) 障害障害者コミュニケーション支援事業	37
5. 介護福祉事業	37
(1) 訪問介護事業	39
(2) 通所介護事業	41
6. 障害福祉事業	45
Ⅱ. 公益事業	
1. 居宅介護支援事業	47
2. 指定管理施設運営事業	48
3. 公益受託事業	
(1) 生きがい活動支援通所事業	50
(2) 介護用品支給事業	51
(3) 生活支援コーディネート事業	52
(4) 軽度生活支援事業	56
Ⅲ. 収益事業	
(1) 会館運営事業	58
【資料編】	
1. 会 員	59
2. 役員、評議員、委員会、部会	59
3. 職 員	61
4. 会 誌	62
5. 総経理欄	65

【概況】

少子高齢化・核家族化の進行、人口減少などを背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などが増加するとともに、家庭環境や地縁・血縁などの共同体の機能が脆弱化するなど、地域での課題解決が難しくなっています。

また、ひきこもりやDV、児童虐待、権利擁護、生活困窮などの従来の福祉制度の枠組みでの対応が困難な課題が増大するとともに多様化しています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大により日常生活は大きく変化するとともに、緊急事態宣言などにより、経済活動など様々な課題も発生し個人収入の減少や停止などにより、新たな生活課題が発生しています。

このような中、本会は『あたたかい手 やさしい心で つなげよう福祉の輪』を理念に掲げ、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの実現を目指し、魚沼市における社会福祉事業などの様々な事業を通じて、地域福祉の向上に取り組みました。

財政面では、資金収支ベースで △36,954 千円、事業活動では当期活動増減差額 △38,660 千円となり、赤字決算となりました。

3年間続いている新型コロナウイルス感染症による影響も否めない状況となり、デイサービス利用者の減少、各種事業の中止や縮減、介護サービスにおける利用の制限などにより大変厳しい事業運営となりました。

令和5年度は、中間決算で法人全体の収支状況を検証し、安定した事業運営を目指します。

◎ 総務部門

令和5年度から令和9年度までの5年間の計画期間とする本会運営の基本的な考え方を示す「第1次発展・強化計画」を策定しました。

人事考課制度については、試行的に実施を行いましたが、人事考課の目的や実施時期、導入後の運用方法等について課題があり、引き続き導入に向けた検討を進めていきます。

また、圏近の労働関係法令等の改正に伴い、関連する諸規程等を改正・整備し、併せて職場環境の改善を推進するとともに、コロナ禍においても理事会や評議員会、専門委員会等を開催し、効率的かつ適正・確実な法人運営が図られました。

◎ 地域福祉部門

コロナ禍にあっても、住民やボランティア団体と連携しながら、段階的に通常の事業形態に移行を図り、住民同士の支え合い活動を促進しました。

また、広く住民の参画を得て、「第3次魚沼市地域福祉推進計画」の策定を、魚沼市と協働で行いました。

相談支援においては、地域住民が相談しやすいよう、支所ごとに担当を配置し、きめ細かな相談対応に努めました。さらに、地域包括支援センター業務を受託し、北部圏域における高齢者支援の中核的な役割を担い、介護保険制度に限らない様々な相談に対応しました。

◎ 介護福祉部門

新型コロナウイルス感染症や自然災害が発生した場合であっても、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築するため、業務継続計画（災害 BCP）を策定しました。全体研修では業務継続計画の机上げ訓練を行い、事業所ごとに計画の見直しを行いました。

また、介護福祉課全体で※科学的介護情報システム（LIFE）を活用して新たに科学的介護推進体制加算の算定を開始し、個別機能訓練や介護支援などの個別援助計画書の見直しを行い、利用者の自立支援・悪度化防止への取り組みを行いました。

慢性的な人員不足への対応として伊米ヶ崎デイサービスセンターの土日定休を継続、利用者数減少への対応として守門デイサービスセンターの土曜日を定休日としました。

※ LIFE とは、科学的介護情報システムのことで、自立支援の効果が科学的に裏付けられた介護を実現するために必要なデータを収集・分析するためのデータベースの構築

以下、令和 4 年度に掲げた事業計画区分ごとに報告します。

科 目	総 計		
	予算	決算	差異
会費収入	9,601,000	9,525,500	75,500
経常経費寄附金収入	1,353,000	1,458,933	△ 105,933
経常経費補助金収入	93,126,000	87,031,142	6,094,858
受託金収入	126,252,000	121,971,103	4,280,897
貸付事業収入	318,000	202,000	114,000
事業収入	9,529,000	8,919,535	609,465
介護保険事業収入	310,688,000	312,610,971	△ 1,924,971
障害福祉サービス等事業収入	6,383,000	9,077,328	△ 2,694,328
その他の事業収入	90,000	135,000	△ 45,000
受取利息配当金収入	40,000	8,659	31,341
その他の事業収入	4,396,000	3,124,827	1,271,173
事業活動収入計 (1)	561,772,000	554,064,998	7,707,002
人件費支出	473,029,000	441,726,213	31,302,787
事業費支出	139,740,000	122,125,905	17,614,095
事務費支出	25,599,000	16,346,198	9,252,802
利用者負担軽減額	4,000	0	4,000
その他の支出	877,000	876,483	517
貸付事業支出	300,000	120,000	180,000
助成金支出	1,420,000	1,414,000	6,000
事業活動支出計 (2)	640,969,000	582,698,799	58,360,201
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 79,197,000	△ 28,543,801	△ 50,653,199
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
固定資産取得支出	1,570,000	235,400	1,334,600
固定資産除却・廃棄支出	66,000		66,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,910,000	5,955,504	954,496
施設整備等支出計 (5)	8,546,000	6,190,904	2,355,096
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 8,546,000	△ 6,190,904	△ 2,355,096
その他の活動による収入	2,000,000	2,023,500	△ 23,500
その他の活動収入 計 (7)	2,000,000	2,023,500	△ 23,500
基金積立資産支出	0	1,296	△ 1,296
積立資産支出	5,000	3,334	1,666
その他の活動による支出	4,634,000	4,238,400	395,600
その他の活動支出 計 (8)	4,639,000	4,243,030	395,970
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 2,639,000	△ 2,219,530	△ 419,470
予 備 費 (10)	3,300,000	0	3,300,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 93,682,000	△ 36,954,235	△ 56,727,765

# I. 社会福祉事業

## 1. 法人運営事業

### (1) 法人運営事業

#### ① 組織基盤の確立

##### ア 執行機関等

理事会、評議員会及び委員会を適宜開催しました。

##### a 理事会

	期 日	開催場所
第1回	5月25日	小出ボランティアセンター
第2回	8月4日	小出ボランティアセンター
第3回	12月13日	小出ボランティアセンター
第4回	3月16日	小出ボランティアセンター

##### b 評議員会

	期 日	開催場所	備 考
第1回	6月10日	小出ボランティアセンター	定時評議員会
第2回	12月21日	小出ボランティアセンター	臨時評議員会
第3回	3月24日	小出ボランティアセンター	臨時評議員会

##### c 監査

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月13日	令和3年度事業及び財務経理状況の監査	小出ボランティアセンター
第2回	11月9日	令和4年度上半期の事業及び財務監査	小出ボランティアセンター

##### d 評議員選任・解任委員会

	期 日	内 容	開催場所
		開催なし	

##### e 役員研修の実施

期 日	内 容	開催場所
11月10日	第72回新潟県民福祉大会	長岡市立劇場

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、支所・事業所視察（評議員・役員）は開催中止としました。

##### イ 専門委員会の開催

本会の円滑な運営を図るため、適宜開催しました。

a 企画調整委員会

	期 日	開催場所
第1回	5月14日	小出ボランティアセンター
第2回	6月22日	小出ボランティアセンター
第3回	7月29日	小出ボランティアセンター
第4回	11月24日	小出ボランティアセンター
第5回	2月9日	小出ボランティアセンター
第6回	3月9日	小出ボランティアセンター

b 生活福祉資金貸付調査委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	6月16日	・委員長選任 ・令和3年度貸付状況及び償還状況について	小出ボランティアセンター
第2回	1月19日	・民生委員改選による委嘱及び委員長選任 ・生活福祉資金（特別貸付含む）貸付状況及び償還状況について ・小口資金貸付状況及び償還状況について	小出ボランティアセンター

c 福祉サービス苦情解決情報交換会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月20日	・苦情解決の仕組みについて ・情報提供及び報告事項 ・苦情等の解決に向けた取組について	小出ボランティアセンター

d 安全衛生委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	3月30日	・職員健康診断、ストレスチェックについて ・職員の療養、事業所の休業、労働中の災害の状況等について ・職場巡視の結果について ・今後の安全衛生委員会のあり方について	小出ボランティアセンター

e 法人後見事業運営委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月19日	・令和3年度事業報告について ・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター
第2回	8月30日	・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター
第3回	11月10日	・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター
第4回	2月17日	・受任に関する審査（2件） ・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター

f 住民参加型在宅福祉サービス事業運営委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月26日	・住民参加型在宅福祉サービス事業実績報告について ・住民等による高齢者の移動・外出支援活動について	小出ボランティアセンター

ウ 第1次発展・強化計画の策定

本会の使命や理念、事業運営の基本的な考え方を確認・明確し、社会環境の変化やさまざまな課題に対応するために重点目標を定め、基本的な考え方を示すため、「第1次発展・強化計画」を策定しました。

a 策定委員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月22日	・策定趣意、概要説明について ・策定スケジュールについて ・現状と課題について（ワークショップ）	小出ボランティアセンター
第2回	9月2日	・前回の振り返り（ワークショップ） ・解決策の支援（ワークショップ）	小出ボランティアセンター
第3回	11月14日	・前回の振り返り ・組織の存在意義について ・計画の構成について ・重点項目について	小出ボランティアセンター
第4回	1月20日	・計画案案について	小出ボランティアセンター
第5回	2月22日	・計画案案について ・周知方法について	小出ボランティアセンター

b 事務局会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月15日	・事務局会議の役割について ・策定委員の選出について ・策定スケジュールについて ・関係団体との意見交換について ・職員の手配について	小出ボランティアセンター
第2回	7月12日	・策定委員会について ・策定委員会の審議内容について ・ワーキングチーム会議について	小出ボランティアセンター
第3回	10月25日	・計画の構成案について ・重点目標について ・部門別計画の構成について	小出ボランティアセンター



c ワーキングチーム会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月14日	・第1回計画策定委員会案について ・ワークショップについて	小出ボランティアセンター
第2回	11月4日	・重点目標について	小出ボランティアセンター

エ 職員資質向上の取り組み

組織内の研修として職員全体研修や部門別研修等を開催しました。また、業社協会の外部研修会に積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。人事考課制度については、試行的に実施を行いましたが、人事考課制度の目的や実施時期、導入後の運用方法等について課題があり、引き続き導入に向けた検討を進めていきます。

a 職員全体研修の実施

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月26日	・各課職員によるプレゼン発表	オンライン
第2回	6月13日	・計画の評価、振り返りについて ・計画の目的や意義、任された業務の役割について（ワークショップ）	小出ボランティアセンター
第3回	10月21日	・伝える力と受け取る力を育てるヒント	小出ボランティアセンター

※部門別研修については各課で企画し、適宜開催した。

b 資格手当の支給

資格名	支給人数	支給額（一月あたり）
社会福祉主事任用資格	6人	2,000円
介護福祉士	43人	3,000円
社会福祉士	7人	3,000円
介護支援専門員	4人	5,000円
主任介護支援専門員	6人	8,000円
看護師（保健師含む）	11人	5,000円
准看護師	5人	3,000円
作業療法士	1人	5,000円
理学療法士	2人	5,000円
計	85人	

c 人事考課制度説明会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月10日	・人事考課制度試行の説明について 説明：パートナーズプロジェクト 社会保険労務士法人	小出ボランティアセンター

第2回	2月9日	・現状と課題について 対象職員、職務基準書及び考課表、考課期 間及び実施スケジュール、面接、評価会 など	小出ボラン ティアセン ター
-----	------	---	----------------------

d 魚沼市介護人材求人活動支援事業の活用

不足する介護人材等を確保するため、広明チラシを作成し、情報発信を行いました。

e シニア産業カウンセラーによるコンサルティング及びカウンセリング（毎月）

② 財政基盤の確立

ア 会員の加入促進

コロナ禍における経済状況の悪化が続いていますが、嘱託員等から会費収納に協力いただき、概ね予算額通りの実績となりました。今後も自治会を単位とする活動の推進、支援を強化することが住民の福祉意識の高揚を図り、会費収納増進につながると考えます。

a 一般会員加入実績

	本年度		前年度	
	会員数（人）	金額（円）	会員数（人）	金額（円）
堀之内	1,865	1,906,000	1,899	1,942,000
小出	2,598	2,653,000	2,669	2,694,500
湯之谷	1,304	1,316,500	1,336	1,339,500
広神	1,565	1,715,000	1,587	1,784,000
守門	626	676,000	658	709,000
入広瀬	255	257,000	276	278,000
合計	8,213	8,523,500	8,425	8,747,000

b 特別会員加入実績

	本年度		前年度	
	会員数（件）	金額（円）	会員数（件）	金額（円）
堀之内	78	231,000	80	241,000
小出	110	466,000	118	490,000
湯之谷	28	59,000	34	69,000
広神	50	141,000	50	140,000
守門	17	44,000	16	39,000
入広瀬	16	61,000	17	62,000
合計	299	1,002,000	315	1,041,000

イ 基本財産の処分

旧堀之内病院敷地内棟2・3階部分を再編し、地域に密着した老人福祉施設の整備が検討されており、本会の基本財産である堀之内社会福祉センターの1階部分も活用する方向で検討が進んでいることから、理事会・評議員会で決議を行い、魚沼市に無償譲渡することとしました。

ウ 税理士法人ツチダ会計による伝票精査・財務相談・財務分析の実施（毎月）

③ 広報活動

機関誌の定期発行及びホームページ活用による広報及び啓発を実施

ア 「うおぬま社協だより」の発行

号 数	発 行 日	備 考
第79号	6月25日	全戸配布 特別会員郵送
第80号	9月25日	
第81号	12月25日	
第82号	3月25日	

イ 編集会議の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月20日	「社協だより」第79号編集会議	小出ボランティア センター
第2回	6月 1日	「社協だより」第79号編集会議	
第3回	7月19日	「社協だより」第80号編集会議	
第4回	9月 1日	「社協だより」第80号編集会議	
第5回	10月18日	「社協だより」第81号編集会議	
第6回	11月28日	「社協だより」第81号編集会議	
第7回	1月23日	「社協だより」第82号編集会議	
第8回	3月 1日	「社協だより」第82号編集会議	

ウ ホームページやフェイスブックの運用

エ マスコミ等への情報提供による新聞掲載

④ 共同募金事業への協力

会員同様、共同募金額の実績が年々減少してきているため、配分金で実施している事業の必要性を広くPRするとともに、より効率的な事業執行に努めました。

ア 新潟県共同募金会評議員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
定 時	6月30日	・令和3年度事業報告に関する件 ・令和3年度決算に関する件 ・役員（理事・監事）の選任に関する件 ・令和4年度赤い羽根新型コロナ下の福祉活動応援キャンペーンの実施に関する件	小出ボランティア センター (Zoom)
随 時	3月28日	・令和4年度募金実績及び助成に関する件 ・令和4年度補正予算に関する件 ・令和5年度事業計画及び予算に関する件	小出ボランティア センター (Zoom)

イ 魚沼市共同募金委員会運営委員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月25日	・令和3年度魚沼市共同募金委員会事業報告及び収支決算について ・令和4年度魚沼市共同募金委員会事業計画(案)及び収支予算(案)について ・令和4年度魚沼市共同募金委員会推進計画(案)について	小出ボランティアセンター

ウ 魚沼市共同募金委員会助成審査委員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月26日	福祉団体等の助成申請内容審査について	小出ボランティアセンター

エ 連合自治会長会議、嘱託員会議がコロナ禍により中止のため、文書での啓発活動実施

⑤ 関係機関・団体との連携協力

地域福祉・介護福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域の福祉課題の共有・解決に向け、関係機関・団体との連携・協力を努めました。

ア 保健・医療・福祉ネットワークへの参画

- a 行政・社協・民児協三者懇談会 1回(7/22)
- b 魚沼市空家等対策協議会 1回(7/21)
- c 魚沼市高齢者等見守り支援ネットワーク会議 1回(8/30)
- d 魚沼市自立支援協議会 全体会2回(5/24、12/16)  
魚沼市自立支援協議会 相談支援部会2回(5/18、7/15)  
魚沼市自立支援協議会 権利擁護部会2回(5/18、8/25)
- e 在宅医療推進センターワーキングチーム会議 4回(5/25、7/27、12/7、3/15)
- f 魚沼市いのちを支える自殺対策推進会議 2回(7/27、3/20)

イ その他の関係機関・関係団体との連携、協力等

魚沼市民生委員児童委員協議会、家族会、手をつなぐ育成会、遺族会、老人クラブ連合会、魚沼ライオンズクラブ、魚沼青年会議所ほか

(2) ふれあい講座事業

地域住民・自治会・団体等が主催する集会等に職員を講師として派遣し、地域福祉活動に関する説明又は職務に関連して習得した専門知識・技能を活かした講座等を行いました。

	開催日	講座名(テーマ)	依頼団体	参加者数
1	4月21日	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためには	第三考クラブ	19人
2	5月6日	「ふくし」とボランティアについて	須原小学校4年生	11人

3	6月27日	介護予防のための体操	西村お茶会	11人
4	7月23日	あんしんな暮らしのお手伝い	山田シルバー倶楽部	9人
5	11月11日	福祉ってなあに？実際に体験してみよう！	魚沼北中学校 1年生	14人
6	12月 5日	あいほうし隊について	みどりコミュニティ	18人
7	1月30日	介護の豆知識	わくわく広場	9人
合 計				91人
前年度（8回）				169人

### （3）火災等被災者への見舞い

火災等の発生により直接被害を受けた個人又は世帯に対し、見舞金を支給しました。

- ・全焼           1件（前年度 1件）           ・半焼           0件（前年度 0件）
- ・床上浸水    0件（前年度 0件）

### 【事業の成果】

本会の使命や理念、事業運営の基本的な考え方を確認・明確にし、社会環境の変化やさまざまな課題に対応するために重点目標を定め、基本的な考え方を示した『第1次発展・強化計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）』を策定しました。

また、適正かつ透明性のある法人運営を図るために、理事会・評議員会等において、議案の審議を行うとともに、法律改正や制度改革等の動きに対応するための情報収集や諸規程等の改正を実施しました。

### 【課題・方針】

人材確保・育成・定着を進めるための人事・労務管理、経営実態を把握し、業績評価と組織の意思決定を行う財務管理等、経営管理への取り組みを進めなければなりません。適切な法人運営と効率的な事業経営を行うため、財務・人事管理をはじめ組織全体にかかわる企画や調整など、本会事業全体のマネジメント業務を行います。

## 法人運営事業

単位:円

科 目	法人運営		
	予算	決算	差異
会費収入	3,379,000	3,787,500	△ 408,500
経常経費寄附金収入	600,000	706,063	△ 106,063
経常経費補助金収入	30,336,000	30,050,000	286,000
受取利息配当金収入	30,000	6,125	23,875
その他の収入	170,000	226,679	△ 56,679
事業活動収入計 (1)	34,515,000	34,776,367	△ 261,367
人件費支出	33,471,000	31,457,727	2,013,273
事業費支出	2,511,000	1,139,183	1,371,817
事務費支出	13,568,000	6,568,755	6,999,245
事業活動支出計 (2)	49,550,000	39,165,665	10,384,335
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 15,035,000	△ 4,389,298	△ 10,645,702
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
固定資産取得支出	250,000	0	250,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,537,000	1,536,480	520
施設整備等支出計 (5)	1,787,000	1,536,480	250,520
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,787,000	△ 1,536,480	△ 250,520
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
基金積立資産支出	0	1,296	△ 1,296
積立資産支出	0	800	△ 800
事業区分間繰入金支出	4,608,000	1,783,124	2,824,876
拠点区分間繰入金支出	221,000	0	221,000
その他の活動による支出	925,000	924,720	280
その他の活動支出 計 (8)	5,754,000	2,708,940	3,044,060
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 5,754,000	△ 2,708,940	△ 3,044,060
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 22,576,000	△ 8,635,718	△ 13,940,282

## 2. 地域福祉事業

### (1) 地域福祉事業

#### ① 第3次魚沼市地域福祉推進計画の策定

##### ア 計画策定委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	8月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長及び副委員長の互選について</li> <li>・地域福祉推進計画について</li> <li>・現計画の振り返りについて(ワークショップ)</li> <li>・地域福祉推進計画策定に向けた市民アンケート結果について(ワークショップ)</li> </ul>	小出ポラン ティアセン ター
第2回	10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案案について</li> <li>・理念・目標について(ワークショップ)</li> <li>・目標を達成する具体的な施策について(ワークショップ)</li> </ul>	小出ポラン ティアセン ター
第3回	12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案案について</li> <li>・地域でできる具体的な取り組みについて(ワークショップ)</li> </ul>	小出ポラン ティアセン ター
第4回	3月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画(案)最終確認</li> <li>・概要版(案)について(ワークショップ)</li> <li>・計画の推進及び評価について</li> </ul>	小出ポラン ティアセン ター

##### イ 事務局会議

	期 日	開催場所
事務局会議	9月5日、9月15日、9月26日、10月3日 10月28日、12月5日	小出ポラン ティアセン ター
プロジェクト チーム会議	4月12日、4月26日、5月19日、5月31日 6月28日、8月8日、10月3日、11月11日 11月30日、3月23日	小出ポラン ティアセン ター

※ 事務局会議：市と社協のそれぞれの事務局による会議

※ プロジェクトチーム会議：社協法人内のプロジェクトチームによる会議

##### ウ 職員全体研修

期 日	内 容	開催場所
6月13日	講義・ワークショップ 「計画の評価、振り返りについて」 「計画の目的や意義、任された業務の役割について」 講師：CI-Labo 小柴謙明氏、長谷川雅子氏	小出ポラン ティアセン ター

#### ② 地域福祉分野におけるICT利活用

Kintone (web データベース型の業務アプリ構築クラウドサービス) 導入による業務改善(支所間の情報共有、業務の効率化と地域課題の見える化)と、オンライン研修及びリモート会議の活用による移動コストの削減と効率化を図りました。

③ 事務局相談

ア 個別相談援助件数 6,997 件（前年度 5,795 件）

相談形態	本年度	前年度
電話	3,518	2,884
訪問	1,670	1,451
来所	1,319	1,101
メール	139	146
会議・打合せ	351	213

相談内容	本年度	前年度
病気や健康・障害のこと	1,153	1,124
居住（住まい）のこと	301	234
生計（収入・生活費）のこと	2,054	1,734
税金や公共料金の支払いのこと	198	128
債務のこと	180	289
仕事探し・就職のこと	115	202
仕事上のトラブルのこと	24	162
地域との関係のこと	176	205
家族との関係のこと	202	137
子育てのこと	3	7
ひきこもり・不登校のこと	31	37
虐待・DV のこと	9	114
食べ物が無いこと	73	51
家事・生活支援のこと	1,092	877
移動・外出支援のこと	388	139
書類等の手続きのこと	281	253
介護・介助のこと	300	302
認知症のこと	193	192
除霊のこと	208	228
空き家のこと	23	6
仲間と気軽に集まる場所・機会が無いこと	77	76
話し相手・相談相手がいないこと	126	90
担い手がいないこと	18	15
その他	1,790	962

④ 福祉関係団体との連携・協働

福祉関係団体の事務局を担当し、各団体の事務を円滑に進められるよう支援しました。

所管部署	団体等
堀之内支所	魚沼市孝族会、魚沼市遺族会、堀之内地区遺族会、堀之内地区手をつなぐ育成会
小出・瀧之谷支所	瀧之谷地区遺族会



広神支所	広神地区遺族会、広神地区手をつなぐ育成会
守門・入広瀬支所	入広瀬地区手をつなぐ育成会
地域福祉係	魚沼市民生委員児童委員協議会、魚沼市主任児童委員協議会

⑤ 市内社会福祉法人の連携・協働

市内社会福祉法人との連携・協働の可能性や、その推進のために必要となる相互の取り組みなど情報交換を行うための懇談会を開催しました。

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種計画策定について</li> <li>・福祉人材確保について</li> <li>・福祉教育について</li> <li>・BCPについて</li> <li>・コロナウイルス予防接種について</li> </ul>	小出ボランティアセンター

【事業の成果】

社内に設置したプロジェクトチームが主体的に事務を進め、広く地域住民の参画を得て、「第3次魚沼市地域福祉推進計画」を策定しました。

ICTの利活用では、kintone による記録管理で、離れた支所間での情報共有を図りました。また、業務の効率化を進めるため、システムエンジニアの協力のもと、アプリの作成に取り組みました。

【課題・方針】

第3次魚沼市地域福祉推進計画をいかに活用していくかが、地域福祉推進のために重要であり、普及と評価を推進・検討するプロジェクトチームを設置し、計画の推進を図ります。

ICTを活用し地域課題の蓄積は進めているが、分析するまでに至っていません。データをとる目的の共通理解と、集計方法の再検討を行います。

## 地域福祉事業

単位：円

科 目	地域福祉		
	予算	決算	差異
会費収入	5,530,000	5,530,000	0
経常経費寄附金収入	300,000	395,037	△ 95,037
経常経費補助金収入	54,240,000	48,500,000	5,740,000
その他の事業収入	360,000	162,870	197,130
事業活動収入計 (1)	60,430,000	54,587,907	5,842,093
人件費支出	49,459,000	45,181,884	4,277,116
事業費支出	4,105,000	2,502,237	1,602,763
事務費支出	727,000	537,301	189,699
事業活動支出計 (2)	54,291,000	48,221,422	6,069,578
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	6,139,000	6,366,485	△ 227,485
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
事業区分間繰入金収入	1,500,000	0	1,500,000
拠点区分間繰入金支出	50,000	10,385	39,615
サービス区分間繰入金支出	100,000	78,741	21,259
その他の活動による支出	1,874,000	1,543,080	330,920
その他の活動支出計 (8)	2,024,000	1,632,206	391,794
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 524,000	△ 1,632,206	1,108,206
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	5,615,000	4,734,279	880,721

## (2) 成年後見支援事業

## ① 相談及び申立手続きの支援

ア 相談件数 450件 (前年度 386件)

相談形態	本年度	前年度
電話	145件	175件
訪問	256件	167件
来所	23件	21件
メール	8件	9件
会議・打合せ	18件	14件

## イ 身寄りのない人への支援

a ガイドライン普及 (講師派遣)

期 日	依頼団体	開催場所
4月21日	身寄りなし問題研究会	新潟市総合福祉会館
7月11日	管於市社会福祉協議会	オンライン
9月16日	分水地域包括支援センター	分水福祉会館
9月26日	魚沼市家族会	守門健康センター
10月6日	柏崎市刈羽郡医師会	柏崎市産業文化会館

10月21日	豊於・肝付地域包括支援センター	オンライン
2月17日	カシオペア権利擁護支援センター	二戸市シビックセンター

b 身寄りなし相談会

- ・相談件数・・・15件（本人：10件、家族等：4件、支援者：1件）
- ・年代別・・・80代以上：6件、70代：2件、60代：5件、30代：2件
- ・相談内容（複数選択）・・・医療決定：2件、死後対応：7件、身元保証：7件、  
金銭管理：4件、その他（看取り、家事・介護ほか）：6件

c 終活学習会

期 日	内 容	開催場所	参加者数
10月27日	「遺言書を書いてみよう」 講師：新潟地方法務局南魚沼支局	小出ボランティア アセンター	12人
12月7日	「わかる！相続」 講師：新潟県司法書士会	小出ボランティア アセンター	12人

② 普及啓発

ア 成年後見勉強会

※講師：社協職員

期 日	内 容	開催場所	参加者数
8月20日	「成年後見制度のしくみ、メリットとデメリットについて」	小出ボランティア アセンター	4人

イ 講師派遣

期 日	依頼団体	開催場所	参加者数
11月20日	魚沼地域福祉会	なないろ	32人

イ 映画上映会

期 日	内 容	開催場所	参加者数
7月30日	映画『あけますから、よろしくお願ひします』	小出郷文化会館	109人
3月5日	映画『梅切らぬハカ』 アールブリュット作品展	小出郷文化会館	109人

ウ 親あるうちの勉強会

期 日	内 容	開催場所	参加者数
8月8日	子どもの高齢化に向けて今からできること	小出ボランティア アセンター	4人

③ 法人後見等の受任

ア 受任状況

※ ( ) 内は終了件数

年度	認知症			知的障害			精神障害			計		
	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	受任	終了	件数
H27		1		1						2		2
H28	2(-1)			2						4	1	5
H29	1			1						2		7
H30	2						1			3		10
R1				1						1		11
R2	(-3)			1			(-1)			1	4	8
R3	3(-2)			3(-1)	1					7	3	12
R4				1						1		13
計	8(-6)	1	0	10(-1)	1	0	1(-1)	0	0	21	8	

イ 法人後見事業運営委員会

	期 日	内 容
第1回	5月19日	令和3年度事業報告 受任ケースの報告について
第2回	8月30日	受任ケースの報告について
第3回	11月10日	受任ケースの報告について
第4回	2月16日	受任に関する審査(2件) 受任ケースの報告について

ウ 職員研修等

- ・成年後見制度担当者研修(7/27、オンライン)
- ・福祉関係者のための権利擁護 成年後見講座【基礎編】(9/7、オンライン)
- ・成年後見制度中核機関職員研修会(9/28、オンライン)
- ・要介護地域におけるこれからの総活を考える(3/18、十日町市)

【事業の成果】

法人後見の新規受任は1件でしたが、年度末に2件受任の依頼があり、確実に受任件数は増加しています。関係機関からの相談も多く、本会が地域の中で成年後見制度の中核的な機関であるという認識が広まっているといえます。また、身寄りのない人の支援を具体的に進めるため、相談会を開催しニーズ把握に努めました。

【課題・方針】

受任件数が増加している中、法人後見の受け皿強化と、成年後見制度の社会化を促進するため、法人後見支援員養成を進めます。

身寄りのない人の支援については、相談会においてニーズの多かった身元保証や死後対応への具体的な支援策を検討します。

科 目	成年後見支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	990,000	990,000	0
事業収入	3,544,000	3,317,000	227,000
その他の収入	160,000	166,420	△ 6,420
事業活動収入計 (1)	4,694,000	4,473,420	220,580
人件費支出	1,398,000	1,200,000	198,000
事業費支出	4,535,000	4,262,048	272,952
事務費支出	400,000	325,520	74,480
事業活動支出計 (2)	6,333,000	5,787,568	545,432
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,639,000	△ 1,314,148	△ 324,852
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,639,000	△ 1,314,148	△ 324,852

## (3) 共同募金配分金事業

## ① 地域の茶の間事業の実施

高齢者や障害者、子育て中の親子等が、地域の中で気軽に出かけられる小規模な憩いの場づくりを目指し、町内（集落）、民生児童委員、ボランティア等によって行われる交流活動を支援しました。

活動費の助成 56 団体（前年度 44 団体）

団 体 名	地区	開催回数	延参加者数	新規
じよんのび会	堀之内	17回	154人	
脳はつらつスマイルクラブ	堀之内	21回	206人	
地域の茶の間“専らっしゃい”	堀之内	1回	12人	
城下お茶会	堀之内	4回	139人	
城下はつらつ会	堀之内	11回	111人	
白山茶話会	堀之内	3回	42人	
クローバ会	堀之内	3回	34人	
すみれ会	小 出	1回	22人	
浦町地域友愛ボランティアの会	小 出	3回	50人	
たんぼまの会	小 出	7回	71人	
羽根川友愛ボランティアの会	小 出	2回	29人	
のんびりサロン	小 出	7回	107人	
古新田友愛ボランティア	小 出	2回	27人	
佐梨友愛ボランティア	小 出	6回	72人	
地域友愛ボランティア(13班)	小 出	8回	167人	
ほほえみの会	小 出	7回	106人	
なごみの会	小 出	7回	40人	
大浦茶の間会	小 出	2回	24人	
十日町茶の間会	小 出	10回	102人	
茶の間「ゆうあい」	小 出	9回	173人	
じよんのびサロン	湯之谷	6回	83人	

大沢さわやかひろば	湯之谷	11回	356人
滝沢みんなの茶の間	湯之谷	12回	140人
湯之谷芋川茶の間会	湯之谷	23回	208人
宇津野こぶし会	湯之谷	9回	78人
結の会(下折立)	湯之谷	9回	116人
上折立シニアお茶クラブ	湯之谷	17回	87人
雲舞の会	湯之谷	20回	170人
たなか茶話会	広 神	12回	154人
老笑会	広 神	13回	134人
麗坂下茶ノ間ノ会	広 神	12回	142人
小平尾茶の間会	広 神	10回	189人
ひまわりの茶の間	広 神	7回	98人
和田絆の会	広 神	21回	154人
ふれあい茶の間	広 神	23回	146人
はつらつ会	広 神	31回	313人
池平のお茶の間	広 神	9回	81人
あかっちクラブ	守 門	2回	70人
大意斎香会	守 門	4回	46人
西村お茶会	守 門	10回	112人
雪原いそいきクラブ	守 門	12回	153人
大谷内きらくサロン	守 門	1回	21人
福山新田地域の茶の間「よらん会」	守 門	16回	140人
洗川お達者会	守 門	5回	93人
長尾長生き会	守 門	12回	198人
荒瀬ふれあいの会	守 門	10回	69人
笑宮	守 門	10回	57人
二分お茶の会	守 門	9回	73人
陽だまりサロン	入広瀬	2回	17人
柿の木お茶会サロン	入広瀬	5回	24人
大板山楽茶の会	入広瀬	12回	136人
とわの会	入広瀬	9回	64人
お茶友の会	入広瀬	6回	93人
横根お茶会	入広瀬	3回	39人
仲良し会	入広瀬	7回	59人
大臼川お茶会	入広瀬	11回	123人
合 計		522回	5,924人
前年度		233回	2,834人

② 新入学生記念品贈呈事業

市内の小学校に入学する児童に対し、新入学のお祝いと登・下校時の交通安全の願いをこめて記念品(体操着袋)を贈呈しました。

学校名	総数	学校名	総数
堀之内小学校	33 個	湯之谷小学校	35 個
宇賀地小学校	11 個	広神東小学校	29 個
小出小学校	69 個	広神西小学校	24 個
伊米ヶ崎小学校	11 個	須原小学校	11 個

③ ふれあい配食サービス事業

高齢者世帯や障害者世帯等に対し、ボランティアによる配食サービスを実施することにより見守りと安否確認を行いました。

ア 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合計	前年度
4月	44	50	34	38	50	16	232	238
5月	43	52	32	40	48	17	232	236
6月	41	54	33	40	50	17	235	241
7月	45	50	32	40	45	18	230	235
8月	47	51	32	41	46	16	233	235
9月	46	57	28	41	44	17	233	236
10月	46	62	26	39	42	19	234	234
11月	48	63	27	45	41	18	242	231
12月	48	65	26	42	43	17	241	227
1月	49	61	28	42	47	18	245	229
2月	46	62	28	43	47	20	246	226
3月	47	65	25	46	47	18	248	234

イ 意見交換会の実施

調理ボランティアの活動再開に向けた意見交換を行いました。

地区	開催日	開催場所	参加者
堀之内	7月27日	堀之内社会福祉センター	10人
小 出	6月27日	小出ボランティアセンター	12人
湯之谷	7月 5日	小出ボランティアセンター	8人
守 門	7月19日	守門健康センター	7人
守 門	11月29日	守門健康センター	7人
入広瀬	7月21日	入広瀬保健センター	11人

ウ その他（新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応）

調理ボランティアによる活動を9月から段階的に再開しました。（第1・第3週）

④ 障害者ふれあいクリスマス会

障害者を対象に、社会参加の促進と交流・仲間づくりを目的に実施した。

実施日	開催場所	参加者
12月10日	小出ボランティアセンター	69人

⑤ その他（広報誌の発行）

「社協だより」を年4回発行し、市内全戸に配布しました。

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の収束により、活動を再開する地域の茶の間が徐々に増えてきました。また、配食サービスでは、9月より少しずつボランティアによる調理を再開し、市内業者とも連携をとりながら実施しています。

【課題・方針】

事業のマンネリ化が課題です。継続は良い面もありますが、現在のニーズに合っているのかを考えながら、必要であれば見直したり、新たな事業を企画するなど、創造性と先駆性を踏まえた事業展開に努めます。

地域福祉事業

単位：円

科 目	共同基金配分金		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	450,000	321,765	128,235
経常経費補助金収入	7,000,000	6,913,142	86,858
事業収入	3,527,000	3,323,000	204,000
事業活動収入計 (1)	10,977,000	10,557,907	419,093
事業費支出	8,518,000	8,184,165	333,835
事務費支出	162,000	162,000	0
その他の支出	877,000	876,483	517
助成金支出	1,420,000	1,414,000	6,000
事業活動支出計 (2)	10,977,000	10,636,648	340,352
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	△ 78,741	78,741
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 78,741	78,741

(4) ボランティアセンター事業

地域福祉推進の要であるボランティア活動を推進するため、様々な機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民ニーズを積極的に収集するとともに、活動に際して必要な援助を行うことにより、ボランティア活動に参加できる体制の整備を行いました。

① ボランティアセンターの充実

ア ボランティア登録・調整

	登録数（新規）	調整数（種・マッチング・相談）
本年度	800件（68件）	27件
前年度	911件（65件）	59件

イ ボランティア保険加入促進

- a ボランティア活動保険（22件） ※内1件社協登録ボランティア（190人）
- b ボランティア活動行事保険（3件）
- c 福祉サービス総合補償（1件）



- ウ センターだよりの発行（年3回発行）  
16号（4月）、17号（9月）、18号（1月）
- エ ボランティアグループ活動支援  
魚沼市ボランティア連絡会との連携により、加盟ボランティアへの情報提供、活動支援を実施しました。
- オ 各種収集活動の啓発  
使用済み切手、使用済みテレホンカード、書き損じ（未使用）ハガキ、外国のコイン
- カ ボランティア活動器材の貸出  
ポッチャ（33件）、ラダー（1件）、歌パズル（2件）、低床玉入れ（1件）、  
ノーバンクボール（1件）、卓イス（1件）、ピンゴ（3件）、囃歌カルタ（1件）、  
長イス（1件）、長テーブル（1件）
- キ 24時間テレビ45「愛は地球を救う」チャリティー募金活動
  - ・募金受付日：令和4年8月29日
  - ・募金額：18,002円（前年度 40,716円）
  - ・受付窓口：社会福祉協議会各支所
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、街頭募金は中止しました。
- ク 女性のつながりサポート事業への協力  
新型コロナの影響による様々な困難、孤独・孤立で不安を抱える女性を支援するため、相談を受け付けるとともに必要に応じて女性用品を配布しました。

## ② 福祉教育の推進

- ア ボランティアスクールの開催（小山中学校）
  - a 事前学習会（6月28日）
    - ・ボランティア活動の心構え
    - ・高齢者、障害者について
    - ・活動メニューの紹介と活動のポイント
  - b 取組内容
    - ・実施日：7月27日、7月29日、8月1日、8月2日、8月3日、8月4日、  
8月5日、8月12日、8月19日、8月22日、8月23日
    - ・内 容：①伊米ヶ崎ティサービスセンター・やいろの里利用者様とリモート交流  
②メッセージポスターの作成（市内5施設に掲示）  
③絵手紙の作成、お届け（見守りや安否確認が必要な高齢者や障害者等に  
絵手紙を作成し、お届けする）  
④音声訳体験  
⑤切手収集ボランティア  
⑥地域清掃活動（ゴミ拾い）
- ・参加者：96人

- イ 「まち」の仕事発見塾の参加（9月16日）  
市内中学校1年生189人が参加。（広神中学校は新型コロナウイルス感染防止のため不参加）30人に企業説明。（17社出席）

- ウ コミュニティスクールへの協力  
a 学校運営協議会委員（堀之内小学校）  
b 地域学校協働本部委員（小出小学校）

エ 小中学校への福祉学習の実施

実施日	学 校 名	内 容
5月6日	須原小学校4年生	ふくしとボランティアについて
5月23日	湯之谷小学校4年生	認知症サポーター養成講座
6月17日	小出小学校2年生	配食利用者様へ絵手紙作成
7月1日	湯之谷小学校4年生	湯之谷デイサービスセンターとのオンライン交流会
7月12日	小出小学校 ボランティア委員会	ボランティア講話
9月14日	伊米ヶ崎小学校2年生	赤い羽根共同募金について
11月30日	湯之谷中学校3年生	認知症サポーター養成講座
12月6日	魚沼北中学校1年生	高齢者疑似体験
3月9日	魚沼北中学校1年生	ポッチャ体験

③ 災害時の支援体制の充実

ア 平常時における関係機関との連携強化

アドバイザー派遣事業

	期 日	内 容	開催場所
第1回	12月18日	～災害時の連携を考える～ 「災害ボランティアセンターの基礎を学ぶ」 コーディネート 李仁鉄 氏	小出ボラン ティアセン ター
第2回	3月29日	～災害時の連携を考える～ 「災害時における遠隔地支援について」 コーディネート 李仁鉄 氏	オンライン

イ 災害支援コーディネーターの養成

災害時の効果的な支援体制を確立するため、新潟県災害ボランティア調整会議が主催する人材養成への取組みに運営委員として参画しました。

	期 日	内 容	開催場所
第1回	9月1日	災害支援コーディネーター養成研 修運営会議	新潟ユニソンプラザ
第2回	9月30日	災害支援コーディネーター養成研 修運営会議	新潟ユニソンプラザ

第3回	11月 2日	災害支援コーディネーター養成研修運営会議	新潟ユニソンプラザ
第4回	12月 5日	災害支援コーディネーター養成研修運営会議委員会議	新潟ユニソンプラザ
第5回	12月14日 ～15日	災害支援コーディネーター養成研修(初級)	新潟ユニソンプラザ
第6回	1月23日 ～1月24日	災害支援コーディネーター養成研修(中級)	新潟ユニソンプラザ
第7回	2月22日	災害支援コーディネーター養成研修(上級)	新潟ユニソンプラザ

#### ④福祉施設協働事業

- ・やいほの星ふれあいガーデニング(5月17日)
- ・やいほの星ふれあい清掃(6月22日、10月27日)

#### ⑤ 住民参加型在宅福祉サービス事業(あいほろし隊)

住民相互の助け合い活動を目的として、地域みんなで生活を支え合う有償サービスのシステムづくりを行いました。

##### ア 相談及び見舞

##### a 実施件数

	件数
本年度	226件
前年度	209件

##### b 登録状況

	利用者	活動者
本年度	61人	82人
前年度	58人	80人

##### c 活動内容

内 容	本年度	前年度
電球換え	1件	2件
灯油入れ	8件	43件
家具の移動	1件	5件
簡単な修繕大工	0件	2件
掃除	121件	91件
車取り	33件	31件
花の水やり	2件	6件
ゴミ出し	16件	28件
見守り、話し相手	40件	70件
通院介助	14件	7件
代筆・代読	3件	7件

買い物	56件	67件
薬とり	17件	9件
日用品等の代金を支払う手続き	3件	1件
その他	30件	55件
合計	345件	434件

※その他・・・庭木の手入れ、布団だし、障子の張替え、布団カバー掛け、買い物補助 ほか

#### 【事業の成果】

相談受付件数は少しずつ増加傾向にあり、利用者希望者は増えています。介護サービスの不足している地域では、あいほうし隊による地域の支え合い活動への期待が高まってきています。

利用者が援助を必要とする理由は、親族が近くにいないことや気軽に頼める人がいないことがあげられます。

#### 【課題・方針】

地域によっては活動者がみつからず、活動に困難を生じています。活動者の確保とあわせて、より使いやすいシステムへの見直しを進めます。

#### 地域福祉事業

単位：円

科 目	ボランティアセンター		
	予算	決算	差異
会費収入	692,000	208,000	484,000
事業収入	150,000	192,570	△ 42,570
その他の事業収入	98,000	154,250	△ 56,250
事業活動収入計 (1)	940,000	554,820	385,180
事業費支出	555,000	438,526	116,474
事務費支出	85,000	61,010	23,990
事業活動支出計 (2)	640,000	499,536	140,464
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	300,000	55,284	244,716
予 備 費 (10)	300,000	0	300,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(10)+(9)-(10)	0	55,284	△ 55,284

### 3. 小口資金貸付事業

低所得者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助を行い、経済的自立や生活の安定を支援しました。

	貸付件数	貸付金額	備 考
本年度	4件	120,000円	
前年度	6件	220,000円	

#### 【事業の成果】

次の収入までのつなぎやライフラインの維持のために利用され、生活再建の一助となっています。また、計画的な償還が出来ず滞納になっている世帯に対しては、生活状況を確認し必要な援助を行いました。

【課題・方針】

長期滞納者も多く、民生児童委員や関係機関等と協力し、相談・支援を継続的に取り組んでいきます。

小口資金貸付金事業

単位：円

科 目	小口資金貸付		
	予算	決算	差異
貸付事業収入	316,000	202,000	114,000
事業活動収入計 (1)	316,000	202,000	114,000
事業費支出	16,000	4,335	11,665
貸付事業支出	300,000	120,000	180,000
事業活動支出計 (2)	316,000	124,335	191,665
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	77,665	△ 77,665
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	77,665	△ 77,665

4. 受託事業

(1) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業 県社協から受託）

①実施状況

a 利用者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本年度	18人	25人	20人	63人
前年度	13人	23人	19人	55人

b 生活の場、収入の状況

	自 宅	病 院	施設 (GH)	生活保護
認知症高齢者	12人	2人	4人	2人
知的障害者	9人	0人	16人	3人
精神障害者	10人	1人	9人	6人
合 計	31人	3人	29人	11人

c 契約件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本年度	9件	3件	3件	15件
前年度	8件	3件	6件	17件

d 終了件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本年度	4件	1件	2件	7件
前年度	7件	4件	0件	11件

e 相談援助件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明	計
本年度	435件	808件	602件	17件	1,862件
前年度	468件	491件	617件	0件	1,576件

f 生活支援員

- ・登録者数 39人（前年度33人）

イ 会議・研修等

- ・専門員研修Ⅰ 基礎ベーシック編（4/26）※オンライン
- ・第1回担当部課長会議（6/29）※オンライン
- ・第1回専門員ミーティング（7/29）※オンライン
- ・生活支援員研修Ⅰ スキルアップ編（9/26）※オンライン（参加者24人）
- ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会実施状況調査（10/19）
- ・専門員研修Ⅱ スキルアップ編（11/22）※三条リサーチコア
- ・新潟県社会福祉協議会実施状況調査（3/14）

【事業の成果】

事業利用のメリットが関係機関とも共有されてきたことから、生活保護ケースワーカー、ケアマネジャー、障害福祉事業所など、幅広い分野からの相談・問い合わせが増えており、契約件数も増加傾向にあります。相談が増えても、事業利用が必要な人に、適時適切に支援が届くよう、各支所に専門員を配置し、きめ細かい相談支援を展開しました。

【課題・方針】

各支所に専門員を配置し相談体制を強化したが、経験年数の少ない専門員のスキルアップが課題です。本人の尊厳を尊重し、意思決定を支援するという本事業の基本姿勢を、すべての専門員が共通理解するよう、計画的な職員育成に努めます。

科 目	福祉サービス利用援助		
	予算	決算	差異
受託金収入	4,594,000	4,594,000	0
事業収入	890,000	881,700	8,300
事業活動収入計 (1)	5,484,000	5,475,700	8,300
人件費支出	3,547,000	3,409,280	137,720
事業費支出	1,357,000	1,340,759	16,241
事務費支出	160,000	134,341	25,659
事業活動支出計 (2)	5,064,000	4,884,380	179,620
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	420,000	591,320	△ 171,320
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
固定資産取得支出	240,000	235,400	4,600
施設整備等支出計 (5)	240,000	235,400	4,600
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 240,000	△ 235,400	△ 4,600
事業区分間繰入金収入	171,000	0	171,000
その他の活動収入 計 (7)	171,000	0	171,000
その他の活動による支出	351,000	355,920	△ 4,920
その他の活動支出 計 (8)	351,000	355,920	△ 4,920
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 180,000	△ 355,920	175,920
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)+(10)	0	0	0

## (2) 生活困窮者自立支援事業（市から受託）

生活保護に至る前の段階から生活困窮者の相談に対応し、抱える課題を整理するとともに、そのおかれている状況や本人意思を十分に確認することを通じて、個々の状態にあった支援を包括的に行い、生活困窮者が困窮状態から早期脱却できるよう支援を行いました。

### ① 自立相談支援事業

#### ア 支援対象者の生活および就労に関する相談支援

- ・新規相談件数：6件（男性5件、女性1件）
- ・相談内容：経済的困窮、就職活動、家計管理ほか

#### イ 法律相談の実施（新潟県弁護士会所属弁護士）

- ・開設回数：24回（毎月第2・4火曜日）
- ・会 場：小出ボランティアセンター「2階 相談室」
- ・相談件数：80件（前年度 78件）
- ・相談内容：相続、離婚、金銭貸借（サラ金以外）

#### ウ 支援調整会議の開催

- ・開催回数：11回（4/28、5/26、6/23、7/28、8/25、9/22、10/27、11/24、12/22、2/24、3/23） ※4月と11月は参集範囲を拡大して開催
- ・会場：小出ボランティアセンター「2階 ボランティア室」

エ フードバンク

協力員として登録していただいた地域の方から、食材の提供を受け、生活困難者に届けました。

	本年度	前年度
提供回数	74 件	60 件
協力員登録者数	74 件	70 件

オ 情報発信

- a 相談カレンダー作成（全戸配布）
- b 市報うめまにて相談窓口の周知

② 就労準備支援事業

ア ひきこもり支援

- a ひきこもり座談会の開催（毎月第3水曜日）

	本年度	前年度
開催回数	10回	12回
参加延人数	14人	22人

- b 学び場ピアサポの開催（奇数月第2水曜日）※新規事業

ひきこもりピアサポート学習会が終了し、その後参加者からの声により、新たな居場所として開催しました。

	本年度
開催回数	6回
参加延人数	20人

- c 女性のためのぴあさぽの開催（偶数月第2水曜日）

学び場ピアサポの対象を女性に限定して開催しました。

	本年度
開催回数	5回
参加延人数	8人

イ 居場所づくり（キャリアカウンセリング、就労準備セミナーは居場所に含む）

- a ちょびんの開催（毎週土曜日、キャリア・ステップ魚沼教室）

	本年度	前年度
開催回数	41回	50回
参加延人数	35人	34人

- b zeroジョブの開催（毎週金曜日、小出ボランティアセンター）

中立的就労の場として開催（缶バッジ、内職、点字名刺作成など）

	本年度	前年度
開催回数	49回	47回
参加延人数	132人	196人



○ one ジョブの開催（不定期）

Zero ジョブを守門入広瀬地区で開催（缶バッジ、内職、点字名刺作成など）

	本年度	前年度
開催回数	38回	46回
参加延人数	38人	74人

③ 家計改善支援事業

ア 相談援助件数：8件

イ 相談内容

- ・家計状況把握の支援（7件）

【事業の成果】

生活困窮者に対し、十分な案内や支援を実施するため、関係機関との連携強化を図りました。居場所「学び場ピアサポ」や中間的就労の場としての「zero ジョブ」「one ジョブ」では、継続的に参加される方が多くみられ、居心地のよい居場所と役割がある場所となっています。

【課題・方針】

地域からの相談がつながりやすいような環境を整備するとともに、就労支援においては中間的な就労の場を継続していきます。

受託事業

単位：円

科 目	生活困窮者自立支援		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	0	26,068	△ 26,068
受託金収入	18,040,000	18,040,000	0
事業活動収入計 (1)	18,040,000	18,066,068	△ 26,068
人件費支出	13,986,000	13,968,182	17,818
事業費支出	2,991,000	2,937,266	53,734
事務費支出	736,000	735,645	355
事業活動支出計 (2)	17,713,000	17,641,093	71,907
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	327,000	424,975	△ 97,975
拠点区分間繰入金収入	135,000	10,385	124,615
その他の活動収入 計 (7)	135,000	10,385	124,615
その他の活動による支出	462,000	435,360	26,640
その他の活動支出 計 (8)	462,000	435,360	26,640
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 327,000	△ 424,975	97,975
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(3) 生活福祉資金貸付事業（県社協から受託）

低所得者世帯等に対して資金の貸し付けと相談援助を行い、生活再建を支援しました。

① 貸付状況

a 生活福祉資金

	貸付件数	貸付金額	備 考
本年度	0件	0円	
前年度	2件	600,000円	総合支援資金 500,000円 緊急小口資金 100,000円

b 緊急小口資金等の特例貸付（新型コロナウイルス） ※9月で終了

	本年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金（特例）	5件	800,000円	14件	1,830,000円
総合支援資金（特例）	5件	1,980,000円	13件	5,300,000円
計	10件	2,780,000円	27件	7,130,000円

② 生活福祉資金貸付調査委員会の開催 2回（6/16、1/19）

【事業の成果】

新型コロナウイルスの収束に伴い、緊急小口資金の特例貸付による相談支援が9月で終了しました。また、本事業の滞納世帯には毎月、電話連絡を行い、生活状況等の確認や相談支援を実施しました。

【課題・方針】

新型コロナの特例により借り入れ世帯に対し、今後、償還が困難な世帯も少なくないことが見込まれるため、関係機関と連携を取りながら、生活相談及び償還指導を実施していきます。

受託事業

単位：円

科 目	生活福祉資金		
	予算	決算	差異
経常経費補助金収入	1,546,000	1,568,000	△ 22,000
受託金収入	60,000	247,700	△ 187,700
事業活動収入計 (1)	1,606,000	1,815,700	△ 209,700
人件費支出	1,568,000	1,568,000	0
事業費支出	97,000	103,209	△ 6,209
事務費支出	35,000	29,200	5,800
事業活動支出計 (2)	1,700,000	1,700,409	△ 409
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 94,000	115,291	△ 209,291
事業区分間繰入金収入	94,000	0	94,000
その他の活動収入 計 (7)	94,000	0	94,000
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	94,000	0	94,000
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(9)+(10)	0	115,291	△ 115,291

(4) 北部地域包括支援センター運営業務（市から受託）

① 包括的支援事業

ア 総合相談支援業務

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援を行いました。

a 相談実績

実件数	715 件
延件数	1,775 件
（再掲）新規	220 件
（再掲）時間外対応	37 件

b 相談形態別（延件数）

電話	1,028 件
来所	114 件
訪問	285 件
その他	348 件
合計	1,775 件

c 相談者区分別（延件数）

本人	210 件
家族	794 件
知人	5 件
関係機関	708 件
親戚	38 件
その他	20 件
合計	1,775 件

d 相談区分（複数回答）（延件数）

介護・生活	1,095 件
サービス利用	580 件
医療	210 件
所得・家庭生活	5 件
その他	244 件
苦情相談	0 件
権利擁護	60 件
障害関係	4 件
介護予防把握	39 件
合計	2,246 件

イ 権利擁護業務

地域の住民や、民生委員児童委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法がみつからない等の困難な状況にある高齢者が地域において安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な支援を行いました。

a 成年後見制度等の活用促進

- ・成年後見活用促進 0件
- ・日常生活自立支援事業利用支援 8件

b 老人福祉施設等への措置の支援

c 高齢者虐待への対応

- ・高齢者虐待通報受付 1件
- ・高齢者虐待相談支援 27件
- ・高齢者虐待対応ケース会議

	期 日	開催場所
第 1回	4月18日	市役所本庁舎
第 2回	5月18日	
第 3回	6月21日	
第 4回	7月19日	
第 5回	8月24日	
第 6回	9月20日	
第 7回	10月19日	
第 8回	11月11日	
第 9回	12月21日	
第10回	1月18日	
第11回	2月17日	
第12回	3月22日	

d 困難事例への対応

e 消費者被害の防止

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者等の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや、個々の介護支援専門員に対する支援等を行いました。

a 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に向けた取り組み

- ・地域ケア個別会議（15回/年）
- ・自立支援型地域ケア個別会議（市主催）への協力（7/13、11/17）
- ・地域ケア推進会議（市主催）への協力（8/17、2/15）
- ・小規模多機能型居宅介護事業所介護支援専門員のスキルアップ研修会（6/27）
- ・ハラスメント対策研修会（7/14）
- ・ハラスメント対策に関する地域ケア個別会議（10/13）
- ・アセスメントについて学ぼう（研修）（11/8、11/10）
- ・区分別主任介護支援専門員代表・副代表との意見交換会（12/12、1/17）

## エ 介護支援専門員に対する個別支援

- ・相談件数 3件
- ・事例検討会 3件

## オ 介護予防ケアマネジメント業務

基本チェックリスト該当者に対して、介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等適切な事業が包括的・効率的に実施されるよう必要な援助を行いました。

- ・基本チェックリスト該当者 45人
- ・事業対象者 2人

## ② 指定介護予防支援業務

介護保険における、予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができよう支援を行いました。

### ア 指定居宅介護予防支援業務（年間延べ数）

	自事業所作成	居宅介護支援事業所委託
予防支援	341件	283件
介護予防ケアマネジメント	254件	61件
合計	595件	344件

- ・自事業所作成（月平均 50.1件/月）
- ・居宅介護支援事業所委託（月平均 29.1/月件）

## ③ その他の事業

包括的支援事業を効果的に実施するための環境整備として、多職種協働による地域包括支援ネットワーク構築に取り組みました。

### ア 在宅医療・介護連携推進事業との連携

- ・在宅医療ワーキングチーム会議（5/25、7/27、12/7、3/15）
- ・薬師い講座参加（4/20、6/8、6/22、7/6、7/20、8/31、10/26、11/2、11/16、12/7、3/1、3/22）
- ・専門研修会参加（7/5、7/25）
- ・多職種連携検討会（8/10）
- ・医療介護連携研修会（10/25、12/15）
- ・入退院支援連携（5/24、9/28、3/7）

### イ 生活支援体制整備事業との連携

- ・生活支援体制整備事業関係研修（5/30）
- ・生活支援体制整備事務局会議への参加（4/15、5/20、6/22、8/2、8/26、9/14、10/4、11/21、1/23、3/10）
- ・北部圏域第2層協議体への参加（10/4、11/25、12/26、2/1）
- ・大川運動教室への協力（7/6、8/2、8/9、8/23、8/30、9/6、9/13、9/20、9/27、10/4、10/11、10/18、10/25）

### ウ 認知症総合支援事業との連携

- ・認知症初期集中支援チーム検討委員会（6/3、9/29）

- ・認知症講演会（10/13）
- ・認知症地域支援・ケア向上事業（書面）

#### エ ネットワーク構築

- ・小出病院地域連絡会（11/18）
- ・生活困窮者自立支援事業支援調整会議（4/28）
- ・高齢者見守りネットワーク会議（8/30）
- ・小規模多機能すまいる並柳・リバーサイドすまいる運営推進会議（6回/年）
- ・小規模多機能ひめさゆり運営推進会議（4回/年）
- ・デイサービスセンター入広瀬運営推進会議（2回/年）
- ・各地区民生委員協議会（4/25、5/18、5/20、1/18）

#### 【事業の成果】

北部圏域の地域包括支援センターが設置され2年が経過しました。地域の身近な相談機関として、多岐にわたる相談を受け、当事業所では対応できないことは、迅速に適切な機関・制度・サービスに繋ぎ、ワンストップサービスの拠点としての機能を果たしました。相談内容を分析し、その結果、「地域の特性」を把握することができました。

また、地域ケア個別会議・事例検討会の開催を積み重ね、地域課題について関係者と共に検討することができました。

#### 【課題・方針】

今年度、実施した相談内容の分析から見出した「地域の特性」について、関係機関と協働で取り組むべきことを明らかにし、その課題にアプローチしていきます。地域ケア個別会議が、単に個別課題解決にとどまらず、地域づくりに繋がるよう、専門職のみならず、住民や地区組織にも参加を促します。

#### 受託事業

単位：円

科 目	北部地域包括支援センター		
	予算	決算	差異
受託金収入	26,400,000	26,400,000	0
介護保険事業収入	4,496,000	4,231,200	264,800
その他の事業収入	0	1,000	△ 1,000
事業活動収入計 (1)	30,896,000	30,632,200	263,800
人件費支出	22,152,000	21,817,114	334,886
事業費支出	7,188,000	5,206,142	1,981,858
事務費支出	1,003,000	630,924	372,076
事業活動支出計 (2)	30,343,000	27,654,180	2,688,820
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	553,000	2,978,020	△ 2,425,020
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動による支出	392,000	382,320	9,680
その他の活動支出 計 (8)	392,000	382,320	9,680
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 392,000	△ 382,320	△ 9,680
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(9)+(10)	161,000	2,595,700	△ 2,434,700

(5) 聴覚障害者等コミュニケーション支援事業(市から受託)

① 派遣状況

昨年度に続き本年度も相談等は有りませんでした。

	本年度	前年度
医療機関	0件	0件
公的機関	0件	0件
就 労	0件	0件
会議・研修	0件	0件
地域活動	0件	0件
その他	0件	0件
計	0件	0件

② 手話通訳者等登録者数 18人

【課題・方針】

聴覚や音声・言語機能に障害がある人に意思疎通を仲介する手話奉仕員を派遣し、意思伝達の手段を確保し、社会生活が円滑に行えるよう、事業の周知を図ります。

受託事業 科 目	聴覚障害者支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	100,000	0	100,000
事業活動収入計 (1)	100,000	0	100,000
事業費支出	98,000	0	98,000
事務費支出	2,000	0	2,000
事業活動支出計 (2)	100,000	0	100,000
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0

5. 介護福祉事業

今年度の資金収支決算は△33,023千円と単年度収支黒字の目標は達成できませんでした、収入予算に対して△4,162千円、支出予算に対して28,877千円の結果となり、補正後予算に対する目標達成率はそれぞれ収入98.7%、支出108.0%となりました。各事業所の収支差額は、訪問介護事業所△4,858千円、伊米ヶ崎デイサービス△7,133千円、湯之谷デイサービス△13,663千円、守門デイサービス△6,588千円、在宅介護支援センター湯之谷962千円、守門居宅介護支援事業所△1,743千円という結果で、要因としてはコロナウイルス感染症の影響でサービス利用を中止された方が延475回、平均単価換算で△4,252千円、訪問介護事業所△740千円、通所3事業所合わせて△3,385千円(湯之谷デイサービス△1,913千円)、また、6事業全体で新規利用者218名に対して終了者229名(入院・入所者126人 終了者の55%)、終了者が新規利用者を上回り利用者数の減少となり収益増に繋がりませんでした。(市内の通所介護事業所に関しても稼働率80%前後との報告を受けています。)

収益が上がらず苦しい中ではありましたが、新型コロナウイルスや自然災害があってもサービス提供を継続していく為に、基本の感染症対策の徹底と災害BCPの訓練を実施しました。

【令和4年度 資金収支決算状況】

(単位:円)

	修正後予算(A)	R4決算(B)	差異(A)-(B)	R3決算(C)	増減(B)-(C)
<b>訪問介護</b>					
事業活動収入	75,090,000	72,800,126	2,289,874	87,620,605	△ 14,820,479
事業活動支出	89,908,000	80,921,470	8,986,530	77,601,125	3,320,345
収支差額	△ 14,818,000	△ 8,121,344	△ 6,696,656	10,019,480	△ 18,140,824
<b>居宅介護・移動支援</b>					
事業活動収入	5,056,000	8,901,440	△ 1,845,440	6,758,437	143,003
事業活動支出	3,811,000	3,837,833	173,167	3,695,809	△ 57,976
収支差額	1,245,000	3,263,607	△ 2,018,607	3,062,628	200,979
<b>軽費生活</b>					
事業活動収入	1,046,000	638,015	407,985	1,369,847	△ 731,832
事業活動支出	1,046,000	638,015	407,985	1,369,847	△ 731,832
収支差額	0	0	0	0	0
<b>魚沼社協訪問介護(合計)</b>					
事業活動収入	81,192,000	80,339,581	852,419	95,749,899	△ 15,409,308
事業活動支出	84,765,000	85,197,318	9,567,822	82,866,781	2,530,537
収支差額	△ 13,573,000	△ 4,857,737	△ 8,715,283	13,082,108	△ 17,939,845
<b>伊米・端デイサービス</b>					
修正後予算(A)		R4決算(B)	差異(A)-(B)	R3決算(C)	増減(B)-(C)
事業活動収入	47,406,000	47,125,119	260,881	60,330,346	△ 13,205,227
事業活動支出	61,227,000	54,257,686	6,969,314	68,919,511	△ 5,661,825
収支差額	△ 13,821,000	△ 7,132,567	△ 6,684,339	410,835	△ 7,543,402
<b>湯之谷デイサービス(介護)</b>					
修正後予算(A)		R4決算(B)	差異(A)-(B)	R3決算(C)	増減(B)-(C)
事業活動収入	57,052,000	58,135,560	△ 1,083,560	67,448,118	△ 9,312,558
事業活動支出	73,881,000	70,733,412	3,147,588	66,879,057	3,860,355
収支差額	△ 16,829,000	△ 12,597,852	△ 4,231,148	575,061	△ 13,172,913
<b>(生活介護)</b>					
事業活動収入	1,327,000	2,175,889	△ 848,889	1,195,772	980,116
事業活動支出	3,268,000	3,241,384	26,606	3,095,814	145,480
収支差額	△ 1,941,000	△ 1,065,506	△ 875,494	△ 1,900,142	834,636
<b>湯之谷デイサービス(合計)</b>					
事業活動収入	58,379,000	60,311,448	△ 1,932,448	68,643,890	△ 8,332,442
事業活動支出	77,149,000	73,974,806	3,174,194	69,968,971	4,005,835
収支差額	△ 18,770,000	△ 13,663,358	△ 5,106,642	△ 1,325,081	△ 12,338,277
<b>守門デイサービス</b>					
修正後予算(A)		R4決算(B)	差異(A)-(B)	R3決算(C)	増減(B)-(C)
事業活動収入	81,770,000	81,919,389	△ 149,389	80,205,714	△ 8,286,328
事業活動支出	95,308,000	88,507,532	6,801,468	83,840,054	△ 5,432,522
収支差額	△ 13,538,000	△ 6,588,144	△ 6,950,856	△ 3,734,340	△ 2,853,804
<b>夜介湯之谷</b>					
修正後予算(A)		R4決算(B)	差異(A)-(B)	R3決算(C)	増減(B)-(C)
事業活動収入	24,369,000	27,903,350	△ 3,534,350	31,158,320	△ 3,252,970
事業活動支出	28,278,000	26,941,414	1,336,586	27,744,128	△ 802,714
収支差額	△ 3,909,000	961,936	△ 4,870,936	3,412,192	△ 2,450,256
<b>守門居宅</b>					
修正後予算(A)		R4決算(B)	差異(A)-(B)	R3決算(C)	増減(B)-(C)
事業活動収入	24,215,000	23,884,430	320,570	24,215,430	△ 321,000
事業活動支出	26,665,000	25,637,593	1,027,407	24,438,607	1,198,686
収支差額	△ 2,450,000	△ 1,743,163	△ 706,837	△ 223,477	△ 1,519,686
<b>介護福祉課全体</b>					
修正後予算(A)		R4決算(B)	差異(A)-(B)	R3決算(C)	増減(B)-(C)
事業活動収入	317,331,000	321,493,316	△ 4,162,316	370,300,589	△ 48,907,273
事業活動支出	383,393,000	354,516,349	28,876,651	358,878,352	△ 4,162,008
収支差額	△ 66,062,000	△ 33,023,033	△ 33,038,967	11,822,237	△ 44,645,270



## 【事業の成果】

コロナ禍ではありましたが、職員の感染予防に対する意識向上に取り組み、利用者・家族のご理解とご協力をいただいたことにより、クラスター（小規模な集団感染）の発生を抑えることができ、できる限り利用者を受け入れ、サービス提供を継続することが出来ました。

科学的介護推進体制加算を算定することにより、利用者の自立支援・重度化防止に向けた質の高いサービス提供を行うことができました。また、利用者の人権の擁護を目的に、高齢者虐待防止指針を策定し、虐待防止委員会を開設しリスクマネジメントの強化を図りました。

## 【課題・方針】

市内の介護認定者数は横ばいとなっていますが、要介護度 3 以上の方の施設入所が増えており、通所介護事業所の利用者数の減少傾向が課題となっています。また、事業の経営状況の悪化や人員不足等により閉鎖する事業所があり、今後も居宅介護サービス事業の経営状況は厳しくなると予想されますが、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう、社団法人らしいサービスとは何かを職員一人ひとりが意識し、サービスの質の向上や人材育成に努め、選ばれる事業所を目指していきます。

さらに、感染や災害に備えた平時からの対応や自立支援・重度化防止に向けた取り組みの継続、事業所の経営状況等を分析し、事業転換や事業所の統合などを検討することにより、介護福祉事業の経営基盤の安定を図っていきます。

### （1）訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

日常生活が困難な要支援要介護状態の方へホームヘルパーを派遣し、その方自身の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助のサービスを提供しました。保険外サービス（ふれあいサポート事業）を実施しました。

- ・実施事業所 1 事業所（本拠地） 1 出張所（守門・入広瀬）
- ・派遣日 1月1日を除く毎日 特別な事情により営業日以外も対応
- ・派遣時間 8時30分～17時30分 特別な事情により時間外も対応
- ・サービス活動収益前年比△15.7%、サービス活動費用前年比 1.4%増でした。
- ・利用者数前年比△10.3% 利用回数前年比△15.4%でした。
- ・各課会館への参加と研修会（zoom 含む）に参加しました。
- ・介護認定審査会委員に訪問介護事業所より 2 名が任命されています。
- ・サービス提供を継続するための災害 BCP の研修・訓練を実施しました。
- ・困難ケースへの対応力の向上を目的に、医療介護連携システム team の活用、ケア会館への参加、事例検討会を開催しました。

① 訪問介護（介護予防訪問介護相当サービス）利用実績

		本拠地			守門・入広瀬出張所			全体			
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	
介護	利用者数(人)	984	875	149	608	480	79	1,532	1,304	228	
	生活	回数	634	635	△ 299	289	711	△ 412	835	1,546	△ 711
		時間	635	806	△ 271	240	484	△ 424	775	1,470	△ 695
	身体	回数	6,397	8,058	△ 2,161	4,784	5,454	△ 660	11,191	14,012	△ 2,821
		時間	4,082	5,857	△ 1,775	2,656	3,371	△ 715	6,738	9,228	△ 2,490
	身体生活	回数	1,290	1,724	△ 434	1,306	789	507	2,596	2,623	73
時間		1,763	2,039	△ 276	1,315	911	504	3,078	2,850	228	
総合	利用者数(人)	121	90	31	108	131	△ 23	229	221	8	
	派遣回数(回)	700	405	285	670	720	△ 50	1,370	1,125	245	

② ふれあいサポート事業（保険外サービス）利用実績

		本拠地			守門・入広瀬出張所			全体		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
	利用者数(人)	11	11	0	12	18	△ 6	23	29	△ 6
身体	回数	9	9	0	13	17	△ 4	22	26	△ 4
	時間	12	9.5	3	19.5	24	△ 6	30.5	33.5	△ 3
生活	回数	12	14	△ 2	0	43	△ 43	12	57	△ 45
	時間	11	12	△ 1	0	42.5	△ 43	11	54.5	△ 44

【事業の成果】

新規獲得のため、ヘルパー便りの発售、ケアマネへの情報提供、法令を順守した誠実なサービス提供などコロナ禍においても出来る事を心がけ、本拠地では総合事業の利用件数を増やすことができ、事業所としての存在感を示すことができました。また、北部地域包括支援センターとの連携による新規利用者の用配等で守門・入広瀬地域での利用者数が増加しました。

【課題・方針】

サービス提供を継続できるよう、自然災害の事業継続計画（BCP）の編成及び計画見直しに取り組んでいきます。また、市内訪問介護事業所の閉鎖に伴い当事業所の利用ニーズが高くなることが推測されるため、職員の人員を確保し、業務の調整や事務業務の簡素化に取り組み、ご自宅で介護を必要とされている方に、質の高いサービスの提供が継続して行えるように努めてまいります。

科 目	訪問介護		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	1,000	0	1,000
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000
介護保険事業収入	73,410,000	71,944,318	1,465,682
その他の事業収入	90,000	135,000	△ 45,000
受取利息配当金収入	1,000	1,853	△ 653
その他の収入	1,587,000	719,155	867,845
事業活動収入計 (1)	75,090,000	72,800,126	2,289,874
人件費支出	79,927,000	71,792,739	8,134,261
事業費支出	9,020,000	8,263,988	756,012
事務費支出	960,000	864,743	95,257
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000
事業活動支出計 (2)	89,908,000	80,921,470	8,986,530
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 14,818,000	△ 8,121,344	△ 6,696,656
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,153,000	2,869,394	283,606
施設整備等支出計 (5)	3,153,000	2,869,394	283,606
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 3,153,000	△ 2,869,394	△ 283,606
サービス区分間繰入金収入	0	50,000	△ 50,000
その他の活動による収入	901,000	900,000	1,000
その他の活動収入 計 (7)	901,000	950,000	△ 49,000
積立資産支出	2,000	1,653	347
サービス区分間繰入金支出	26,000,000	26,050,000	△ 50,000
その他の活動による支出	107,000	90,000	17,000
その他の活動支出 計 (8)	26,109,000	26,141,653	△ 32,653
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 25,208,000	△ 25,191,653	△ 16,347
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 43,179,000	△ 36,182,391	△ 6,996,609

## (2) 通所介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

要支援要介護状態の方に対して、能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助や個別機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減が図れるよう努めました。

- ・実施事業所 3事業所(伊米ヶ崎デイサービス、湯之谷デイサービス、守門デイサービス)
- ・開 所 日 12月31日～1月3日を除く毎日  
伊米ヶ崎デイサービスセンターは毎週土・日曜休業日  
湯之谷デイサービスセンターは毎週土曜休業日  
守門デイサービスセンターは毎週土曜休業日
- ・開所時間 9時00分～16時30分
- ・サービス活動収益前年比△13.7%、サービス活動費用前年比△28%でした。
- ・利用者数前年比 介護△13.5%、総合△9.6%、利用回数前年比 介護△16.4%、総合△9%、年間平均稼働率前年比△9.3%
- ・理美容サービスを実施しました。
- ・実習生を受け入れました。

伊米ヶ崎デイサービスセンター 北里大学保健衛生専門学院  
4日間各2名ずつ受入れ(実人数4名)

- ・職場体験を受け入れました  
伊米ヶ崎デイサービスセンター  
R4年9月 小出中学校2年生 職場体験
- ・ボランティアの受け入れなし（コロナ禍のため理美容サービスのみ）
- ・介護認定審査会委員に通所介護事業所より4名が任命されています。
- ・講師依頼がありました。  
守門デイサービスセンター  
R4年11月 社協新任及び初級職員向け研修 1名（新潟県社協）  
R4年11月 福祉学習 1名（魚沼北中学校）
- ・地域との交流を行いました。  
伊米ヶ崎デイサービスセンター  
R4年6月 伊米ヶ崎小学校3年生 さつま芋の苗植え  
R4年7月 小出中学校 リモート交流（手遊び、なぞなぞ、クイズ）  
R4年8月 小出中学校 リモート交流（生徒からの読み聞かせ）  
R4年9月 伊米ヶ崎小学校3年生 勇金箱作り  
R4年9月 伊米ヶ崎小学校3年生 芋ほり  
R4年11月 伊米ヶ崎小学校3年生 焼き芋会  
R4年12月 伊米ヶ崎公民館にて作品展（12/5～16）  
守門デイサービス  
R4年6月 須原小学校4年生 クイズ等  
R5年1月 須原小学校4年生 リモート交流（体操を一緒に行う）  
R5年2月 須原小学校4年生 リモート交流（体操を一緒に行う）
- ・お客様アンケート実施しました。
- ・区分別会議の委員をつとめ、市内他事業所と連携を図りました。
- ・各種会議への参加と研修会（zoom含む）に参加しました。
- ・医療介護連携システム team を導入し、医療との連携がスムーズに行えました。
- ・サービス提供を継続するために感染症についての研修、災害BCP訓練を実施しました。
- ・介護職員処遇改善加算（総合事業）を新たに算定しました。

	伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			通所介護全体(平均)			
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	
定員	23	23	0	25	25	0	29	29	0	26	26	0	
開所日	257	285	△28	310	309	1	310	380	△50	292	318	△26	
介護	年間利用者数	479	612	△133	505	716	△151	917	962	△45	654	763	△110
	年間利用回数	4,120	5,444	△1,324	4,836	6,100	△1,264	7,128	7,957	△728	5,382	6,467	△1,105
総合	年間利用者数	38	22	16	113	101	12	179	242	△63	110	122	△12
	年間利用回数	181	117	64	727	594	133	985	1,347	△382	624	686	△62
1日平均利用者数	18.7	19.8	△1.2	18.0	21.6	△3.6	26.1	25.7	0.4	23.8	23.0	0.8	
稼働率(%)	72.6%	85.3%	-12.7%	72.0%	86.5%	-14.5%	90.0%	88.0%	1.4%	78.2%	86.6%	-8.6%	

※通所介護施設数(介護)：県内405のち

本館利用者数 38人 / 年間利用者数289回 / 稼働率72.6%

#### 【事業の成果】

コロナ禍で地域の方を招く等の交流が難しい状況でしたが、感染予防対策を徹底するなどして、小中学生と屋外・屋内での交流を持てるようにしました。また、昨年に引き続きオンラインを活用した交流も行いました。

地域住民の生活を守るため、感染予防対策を続けながら出来る限り利用者の受入を行うことが出来ました。また、職員の感染予防に対する意欲の向上が図れ、利用者・家族のご理解とご協力を頂いたこともあり、施設内で他利用者・職員への感染拡大はありませんでした。

#### 【課題・方針】

専門職による個別機能訓練を希望されるご利用者が増えてきたため、利用者の自立支援と重複化防止に向けた介護支援計画書を作成し実施していきます。また、サービス提供が継続できるように、自然災害の事業継続計画（BCP）の訓練及び計画見直しに取り組んでいきます。

通所介護事業

単位：円

科 目	伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門子デイサービス			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	1,000	10,000	△ 9,000	0	0	0	1,000	0	1,000	2,000	10,000	△ 8,000
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000
介護保険事業収入	47,087,000	46,988,191	100,809	56,028,000	57,044,792	△ 1,016,792	81,757,000	81,766,810	△ 9,810	184,672,000	185,797,793	△ 925,793
受取利息配当金収入	1,000	228	772	7,000	653	6,347	1,000	0	1,000	9,000	881	8,119
その他の収入	316,000	128,700	187,300	1,016,000	1,090,115	△ 74,115	10,000	152,578	△ 142,578	1,342,000	1,371,393	△ 29,393
事業活動収入計 (1)	47,406,000	47,125,119	280,881	57,052,000	58,135,560	△ 1,083,560	81,770,000	81,919,388	△ 149,388	186,226,000	187,180,067	△ 952,067
人件費支出	48,641,000	42,282,953	6,358,047	56,874,000	54,916,604	1,957,396	74,926,000	69,788,818	5,137,182	180,441,000	166,968,375	13,452,625
事業費支出	11,371,000	11,286,990	84,010	16,242,000	15,298,377	943,623	19,615,000	17,977,132	1,637,868	47,729,000	44,662,499	3,066,501
事務費支出	714,000	587,743	126,257	764,000	518,431	245,569	767,000	741,582	25,418	2,245,000	1,847,756	397,244
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000
事業活動支出計 (2)	61,227,000	54,257,686	6,969,314	73,881,000	70,733,412	3,147,588	95,309,000	88,507,532	6,801,468	230,417,000	213,498,630	16,918,370
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 13,821,000	△ 7,132,567	△ 6,688,433	△ 16,829,000	△ 12,597,852	△ 4,231,148	△ 13,539,000	△ 6,588,144	△ 6,950,868	△ 44,189,000	△ 28,318,563	△ 17,870,437
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	128,000	0	128,000	128,000	0	128,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	367,000	245,071	121,929	367,000	245,071	121,929	703,000	420,194	282,806	1,437,000	910,336	526,664
施設整備等支出計 (5)	367,000	245,071	121,929	367,000	245,071	121,929	831,000	420,194	410,806	1,565,000	910,336	654,664
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 367,000	△ 245,071	△ 121,929	△ 367,000	△ 245,071	△ 121,929	△ 831,000	△ 420,194	△ 410,806	△ 1,565,000	△ 910,336	△ 654,664
サービス区分間繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0	15,000,000	15,000,000	0	10,000,000	10,000,000	0	26,000,000	26,000,000	0
その他の活動による収入	225,000	225,000	0	451,000	450,000	1,000	0	0	0	676,000	675,000	1,000
その他の活動収入 計 (7)	1,225,000	1,225,000	0	15,451,000	15,450,000	1,000	10,000,000	10,000,000	0	26,676,000	26,675,000	1,000
積立資産支出	1,000	228	772	2,000	653	1,347	0	0	0	3,000	881	2,119
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	2,000,000	1,400,000	600,000	0	0	0	2,000,000	1,400,000	600,000
その他の活動による支出	90,000	90,000	0	175,000	173,025	1,975	109,000	198,000	1,000	374,000	371,025	2,975
その他の活動支出 計 (8)	91,000	90,228	772	2,177,000	1,573,678	603,322	109,000	198,000	1,000	2,377,000	1,771,906	605,094
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,134,000	1,134,772	△ 772	13,274,000	13,876,322	△ 602,322	9,891,000	9,892,000	△ 1,000	24,299,000	24,903,094	△ 604,094
予 備 費 (10)	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	3,000,000	0	3,000,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 14,054,000	△ 6,242,866	△ 7,811,134	△ 4,922,000	1,033,399	△ 5,955,399	△ 5,479,000	2,883,662	△ 8,362,662	△ 24,455,000	△ 2,225,905	△ 22,129,195

## 6. 障害福祉事業

日常生活において支援を必要とする障害者をお持ちの方へホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助、視覚障害者等の外出支援等のホームヘルプサービスを提供することにより、生活の質の向上に資するよう努めました。

障害福祉事業全般においては年々利用者数が減少の傾向にありますが、基準該当生活介護の利用者数は1名増えたことにより前年比150.0%、利用回数159.2%となっています。居宅介護の利用者数に関してもは前年比100%、利用回数102.8%となっています。利用者数の変動はありませんでしたが、利用回数は増えています。軽度生活支援の利用者数は、前年比△60.2%と大きく減少しています。

### (1) 基準該当生活介護（湯之谷デイサービスセンターで一体的に実施）

基準該当施設において、常に介護を必要とする方に、入浴・食事・排泄の介助等を行うとともに、趣味の場や社会交流の機会を提供しました。

- ・実施事業所 湯之谷デイサービス
- ・開所日 12月31日～1月3日及び土曜日を除く毎日
- ・開所時間 9時00分～16時30分

	実績	前年度	比較
利用者数	38	24	12
利用回数	269	169	100

### (2) 居宅介護（訪問介護と一体的に実施）

- ・実施事業所 1事業所（本拠地）1出張所（守門・入広瀬）で実施
- ・派遣日 1月1日を除く毎日特別な事情により営業日以外も対応
- ・派遣時間 8時30分～17時30分特別な事情により時間外も対応

	本拠地			守門・入広瀬			全体			
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	
利用者数(人)	193	193	0	58	58	0	251	251	0	
派遣回数・時間	身体 回数	869	864	5	102	94	8	971	958	13
	家事 回数	1,112	1,009	73	477	506	△29	1,589	1,545	44
	通院 回数	3	5	△2	0	0	0	3	5	△2

### (3) 地域生活支援事業 移動支援（訪問介護と一体的に実施 市から受託）

魚沼市からの依頼により、屋外での移動が困難な障害者をお持ちの方へホームヘルパーを派遣し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会生活参加のための外出に対して移動支援のサービスを提供しました。

	本拠地			守門・入広瀬			全体		
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数	8	4	4	0	0	0	8	4	4
派遣回数	9	4	5	0	0	0	9	4	5

【事業の成果】

利用者数の増加はありませんが、地域で在宅生活を継続するために支援を必要としている障害をお持ちの方に、コロナ禍においても感染予防対策を講じながら可能な限りサービス提供をし在宅生活の継続を支援することが出来ました。また、サービス提供を継続するために感染症についての研修、災害BCPの訓練を実施しました。

障害福祉サービスは、介護保険事業所が一体となってサービスを提供しています。

【課題・方針】

コロナ禍等の状況の中でも支援を必要としている方に必要なサービスが提供を継続できるよう、感染症や自然災害の事業継続計画（BCP）の訓練及び計画見直しを行い基盤作りをしていきます。

障害福祉事業 単位：円

科 目	居宅介護			障害生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
障害福祉サービス等事業収入	5,056,000	6,901,440	△ 1,845,440	1,327,000	2,175,888	△ 848,888	6,383,000	9,077,328	△ 2,694,328
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計 (1)	5,056,000	6,901,440	△ 1,845,440	1,327,000	2,175,888	△ 848,888	6,383,000	9,077,328	△ 2,694,328
人件費支出	3,184,000	3,071,823	112,177	2,468,000	2,462,274	5,726	5,652,000	5,534,097	117,903
事業費支出	576,000	540,442	35,558	782,000	763,738	18,262	1,358,000	1,304,180	53,820
事務費支出	51,000	25,568	25,432	18,000	15,382	2,618	68,000	40,950	28,050
事業活動支出計 (2)	3,811,000	3,637,833	173,167	3,268,000	3,241,394	26,606	7,079,000	6,879,227	199,773
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	1,245,000	3,263,607	△ 2,018,607	△ 1,941,000	△ 1,065,506	△ 875,494	△ 696,000	2,198,101	△ 2,894,101
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	0	0	0	2,000,000	1,400,000	600,000	2,000,000	1,400,000	600,000
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	2,000,000	1,400,000	600,000	2,000,000	1,400,000	600,000
その他の活動による支出	0	0	0	3,000	2,475	525	3,000	2,475	525
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	3,000	2,475	525	3,000	2,475	525
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	1,997,000	1,397,525	599,475	1,997,000	1,397,525	599,475
予 備 費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,245,000	3,263,607	△ 2,018,607	56,000	332,019	△ 276,019	1,301,000	3,595,626	△ 2,294,626



## Ⅱ. 公益事業

### 1. 居宅介護支援事業

介護サービスを必要としている方、そのご家族の意向に沿った居宅介護支援計画を作成し、利用者の状況にあったサービスを円滑に提供できるように努めました。また、各種申請や更新の手続きの代行も行い、利用者の負担の軽減に努めました。魚沼市北部地域包括支援センター・魚沼市南部地域包括支援センター・魚沼市西部地域包括支援センターからの依頼により介護予防サービス計画を作成し、利用者の状況に最も心ざわしいサービスを円滑に提供できるように努めました。

介護給付件数は2事業所合わせて前年比△6.6%で、介護予防支援・予防ケアマネジメントも全体で△14.2%で、2事業所ともに減少となりました。認定調査については、全体で前年比△7.2%で、守門居宅は3.8%の増加でしたが、在宅湯之谷が△15.8%で大きく減少しました。

利用者が在宅で必要なサービスを受けられるように支援していくため、災害BCPの訓練を実施しました。

- ・実施事業所 2事業所（在宅介護支援センター湯之谷、守門居宅介護支援事業所）
- ・開所日 月曜～金曜 年末年始（12月29日～1月4日）祝祭日を除く
- ・開所時間 8時30分～17時30分

#### （1）居宅介護支援（介護予防支援・介護予防ケアマネジメント・認定調査）実績

		在宅湯之谷			守門居宅			全 体		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
介護給付	給付件数	1,436	1,516	△180	1,256	1,269	△10	2,692	2,687	△190
	月平均給付件数	120	136	△15	105	106	△1	225	241	△16
予防支援・ケアマネジメント	受託件数	286	316	△27	166	240	△52	477	596	△119
	月平均給付件数	24	26	△2	14	20	△4	40	46	△7
認定調査	受託件数	85	101	△16	83	89	3	168	181	△13
	月平均給付件数	7	8	△1	7	7	0	14	15	△1

- ・実習生受け入れ 岩手医科大学医学部 1人
- ・研修医受け入れ 長岡赤十字病院 5人
- ・区分別会議委員、主任ケアマネ職員を務め市内の他事業所と連携を図りました。
- ・医療介護連携システム team を導入し、医療との連携がスムーズに行えました。
- ・team 導入の委員を務め、率先して医療介護連携の推進に務めました。
- ・他法人の居宅介護支援事業所と連携を図り、事例検討などを合同で実施しました

#### 【事業の成果】

守門居宅介護支援事業所は、北部地域包括支援センターの影響もあり新規利用者が上がりますが、亡くなられた方や施設入所の方も多く給付件数は若干の増加となりました。また、在宅介護支援センター湯之谷に関しては介護給付件数が減少していますが、2事業所ともに多重課題を抱える困難ケースの支援に積極的に取り組みました。

感染症の事業継続計画を策定し、訓練を行うことで職員の感染予防に対する意識の向上や対応力の向上を図りました。

【課題・方針】

利用者数は減少していますが、在宅生活を継続するために支援を必要としている方に必要なサービスが継続して提供できるよう事業継続計画（BCP）の訓練及び計画見直しに取り組んでいきます。更に、市内のそれぞれの地域包括支援センターとの連携を深め、地域住民の生活を守るため介護予防、重度化防止に向けて支援を継続していきます。

在宅介護支援センター湯之谷は、基幹集落センターの取り壊しに伴い、広神地区のJA北魚沼菰神プラザ店に3月31日に移転しました。今後も引き続き地域の方への相談・支援がスムーズに行えるように努めてまいります。

在宅介護支援事業

単位：円

科 目	在宅介護湯之谷			守門居宅			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
介護保険事業収入	24,359,000	27,853,450	△ 3,494,850	23,549,000	23,621,270	△ 72,270	47,908,000	51,474,720	△ 3,566,720
その他の収入	10,000	49,900	△ 39,900	686,000	273,160	392,840	676,000	323,040	352,960
事業活動収入計 (1)	24,369,000	27,903,350	△ 3,534,350	24,235,000	23,894,430	320,570	48,584,000	51,797,760	△ 3,213,760
人件費支出	23,199,000	22,568,357	630,643	23,464,000	22,819,083	644,917	46,663,000	45,387,440	1,275,560
事業費支出	2,119,000	1,869,852	229,148	2,920,000	2,558,262	361,738	5,039,000	4,448,114	590,886
事務費支出	2,960,000	2,483,205	476,795	281,000	260,248	20,752	3,241,000	2,743,453	497,547
事業活動支出計 (2)	28,278,000	26,941,414	1,336,586	26,665,000	25,637,593	1,027,407	54,943,000	52,579,007	2,363,993
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,909,000	961,936	△ 4,870,936	△ 2,430,000	△ 1,743,163	△ 706,837	△ 4,359,000	△ 781,227	△ 5,571,173
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	952,000	0	952,000	0	0	0	952,000	0	952,000
固定資産除却・廃棄支出	66,000	0	66,000	0	0	0	66,000	0	66,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	413,000	336,951	76,049	370,000	302,343	67,657	783,000	639,294	143,706
施設整備等支出計 (5)	1,431,000	336,951	1,094,049	370,000	302,343	67,657	1,801,000	839,294	1,161,706
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,431,000	△ 336,951	△ 1,094,049	△ 370,000	△ 302,343	△ 67,657	△ 1,801,000	△ 839,294	△ 1,161,706
その他の活動による収入	0	25,500	△ 25,500	423,000	423,000	0	423,000	448,500	△ 25,500
その他の活動収入 計 (7)	0	25,500	△ 25,500	423,000	423,000	0	423,000	448,500	△ 25,500
事業区分間繰入金支出	1,765,000	0	1,765,000	0	0	0	1,765,000	0	1,765,000
その他の活動による支出	73,000	61,500	11,500	73,000	72,000	1,000	146,000	133,500	12,500
その他の活動支出 計 (8)	1,838,000	61,500	1,776,500	73,000	72,000	1,000	1,911,000	133,500	1,777,500
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 1,838,000	△ 36,000	△ 1,802,000	350,000	351,000	△ 1,000	△ 1,488,000	315,000	△ 1,803,000
予 備 費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)+(10)	△ 1,178,000	583,985	△ 1,761,985	△ 2,470,000	△ 1,894,508	△ 775,492	△ 9,648,000	△ 1,105,521	△ 8,542,479

2. 指定管理施設運営事業（市から受託）

(1) 小出ボランティアセンター

・利用者数 延 19,092人（前年度 18,407人）

(2) 広神老人福祉センター

・利用者数 延 1,899人（前年度 2,063人）

(3) 守門健康センター

・利用者数 延 1,369人（前年度 1,867人）

(4) 守門高齢者居住施設

種 別	居室（室）	定員（人）	利用状況（人）
単身用	3	3	2
世帯用	1	2	0
計	4	5	2

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行政等の指示に基づき、使用制限や感染対策等を講じながら管理運営を行いました。

【課額・方針】

指定管理者の指定を受けた公共施設で住民サービスの向上を目指した管理運営を行い、当該施設を活用して地域に密着した福祉活動や介護保険事業等の運営を一体的に行います。

指定管理施設運営事業

単位：円

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門高齢者居住		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	5,952,000	5,052,000	0	5,300,000	5,300,000	0	5,500,000	5,300,000	200,000
事業収入	0	0	0	1,000	0	1,000	216,000	216,000	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計 (1)	5,952,000	5,052,000	0	5,301,000	5,300,000	1,000	5,716,000	5,516,000	200,000
人件費支出	656,000	655,946	54	2,061,000	2,030,820	30,180	4,854,000	4,578,585	275,415
事業費支出	7,499,000	5,548,518	1,950,482	3,480,000	3,021,617	458,383	1,016,000	856,415	159,585
事務費支出	400,000	400,000	0	310,000	247,563	62,437	87,000	81,000	6,000
事業活動支出計 (2)	8,555,000	6,604,464	1,950,536	5,851,000	5,300,000	551,000	5,957,000	5,516,000	441,000
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,598,000	△ 1,552,464	△ 1,950,536	△ 550,000	0	△ 550,000	△ 241,000	0	△ 241,000
事業区分間繰入金収入	3,503,000	1,552,464	1,950,536	0	0	0	241,000	0	241,000
その他の活動収入 計 (7)	3,503,000	1,552,464	1,950,536	0	0	0	241,000	0	241,000
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	3,503,000	1,552,464	1,950,536	0	0	0	241,000	0	241,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(9)+(9)-(10)	0	0	0	△ 150,000	0	△ 550,000	0	0	0

科 目	守門健康センター			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	7,100,000	7,100,000	0	22,952,000	22,752,000	200,000
事業収入	9,000	0	9,000	226,900	216,000	10,900
その他の収入	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000
事業活動収入計 (1)	7,110,000	7,100,000	10,000	23,179,000	22,968,000	211,000
人件費支出	1,403,000	1,402,882	118	8,974,000	8,868,233	305,767
事業費支出	5,309,000	5,260,721	48,279	17,304,000	14,687,271	2,616,729
事務費支出	537,000	487,557	49,443	1,334,000	1,216,120	117,880
事業活動支出計 (2)	7,249,000	7,151,160	97,840	27,612,000	24,571,624	3,040,376
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 139,000	△ 51,160	△ 87,840	△ 4,433,000	△ 1,603,624	△ 2,829,376
事業区分間繰入金収入	139,000	51,160	87,840	3,883,000	1,603,624	2,279,376
その他の活動収入 計 (7)	139,000	51,160	87,840	3,883,000	1,603,624	2,279,376
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	139,000	51,160	87,840	3,883,000	1,603,624	2,279,376
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(9)+(9)-(10)	0	0	0	△ 550,000	0	△ 550,000

### 3. 公益受託事業

#### (1) 生きがい活動支援通所事業（市から受託）

高齢者の社会参加や自立的な生活の促進をすることで要介護状態になることを防ぎ、健康でいきいきとした生活を送るため、日常動作訓練・レクリエーション等を行いました。

・実利用者数

	堀之内	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	計	前年度
4月	6人	8人	17人	10人	2人	43人	52人
5月	4人	8人	15人	10人	2人	39人	50人
6月	4人	8人	18人	11人	2人	43人	50人
7月	5人	8人	16人	11人	2人	42人	53人
8月	4人	7人	14人	11人	2人	38人	53人
9月	5人	7人	16人	10人	2人	40人	52人
10月	6人	9人	15人	10人	2人	42人	52人
11月	6人	10人	16人	9人	2人	43人	51人
12月	4人	9人	17人	9人	2人	41人	47人
1月	6人	9人	16人	7人	3人	41人	47人
2月	7人	9人	16人	7人	2人	41人	43人
3月	7人	10人	17人	6人	2人	42人	43人

#### 【事業の成果】

感染対策を徹底し、休むことなく事業を実施できました。また、介助員のスキルアップを目的に意見交換を行いました。

#### 【課題・方針】

介護保険制度への移行により利用者が減少しています。事業の周知や見直しも含め、市と協議・検討を進めます。

#### 公益受託事業

単位：円

科 目	生きがい活動		
	予算	決算	差異
受託金収入	15,000,000	12,869,945	2,130,055
その他の収入	0	0	0
事業活動収入計 (1)	15,000,000	12,869,945	2,130,055
人件費支出	8,546,000	7,920,278	625,722
事業費支出	6,198,000	4,841,365	1,356,635
事務費支出	256,000	255,780	220
事業活動支出計 (2)	15,000,000	13,017,423	1,982,577
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	△ 147,478	147,478
事業区分間繰入金収入	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 147,478	147,478

(2) 介護用品支給事業（市から受託）

在宅で寝たきりの高齢者など介護が必要な人に対し、介護用品の給付券を支給しました。

① 家族介護継続支援事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	52人	34人	36人	49人	13人	9人	193人	183人
5月	64人	101人	46人	75人	38人	13人	337人	339人
6月	58人	83人	40人	94人	31人	16人	322人	337人
7月	64人	98人	49人	84人	38人	15人	348人	330人
8月	60人	101人	45人	90人	41人	15人	352人	347人
9月	52人	83人	45人	92人	39人	10人	321人	317人
10月	66人	102人	46人	92人	35人	13人	354人	334人
11月	62人	96人	47人	91人	39人	15人	350人	311人
12月	65人	72人	46人	92人	38人	16人	329人	301人
1月	58人	94人	41人	94人	29人	10人	326人	297人
2月	64人	65人	40人	93人	41人	15人	318人	286人
3月	81人	113人	50人	117人	58人	20人	439人	359人

② 家族介護用品支給事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	4人	2人	0人	0人	0人	0人	6人	19人
5月	4人	4人	0人	0人	0人	1人	9人	43人
6月	5人	1人	0人	0人	0人	0人	6人	42人
7月	5人	3人	0人	0人	0人	1人	9人	52人
8月	4人	4人	0人	0人	0人	0人	8人	55人
9月	4人	4人	1人	0人	0人	0人	9人	40人
10月	4人	3人	1人	1人	0人	1人	10人	53人
11月	4人	2人	1人	1人	0人	0人	8人	53人
12月	5人	3人	0人	1人	1人	0人	10人	52人
1月	5人	4人	1人	1人	0人	1人	12人	51人
2月	4人	2人	1人	1人	0人	1人	9人	57人
3月	5人	5人	1人	1人	1人	1人	14人	71人

【事業の成果】

在宅の寝たきり高齢者、身体障害者手帳1・2級所持者で介護が必要な人に対し、給付券により介護用品の支給を行いました。また、民生委員経由で給付券を毎月配布し、利用者の状況把握にも努めました。

【課題・方針】

支援を必要とする対象者の実数を把握することは困難ですが、在宅で介護をされている家族に対する支援策として、民生児童委員や関係機関等と連絡を取りながら、引き続き、事業展開をしていきます。

公益受託事業

単位：円

科 目	介護用品支給		
	予算	決算	差異
受託金収入	21,880,000	18,485,061	3,394,939
事業活動収入計 (1)	21,880,000	18,485,061	3,394,939
人件費支出	1,890,000	1,890,000	0
事業費支出	19,890,000	16,680,893	3,209,107
事務費支出	100,000	100,000	0
事業活動支出計 (2)	21,880,000	18,670,893	3,209,107
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	△ 185,832	185,832
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 185,832	185,832

(3) 生活支援コーディネーター事業（市から受託）

第一層（市全域）に生活支援コーディネーターを配属し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を進めました。

ア 生活支援サービス等の社会資源情報の作成

- ・市、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターが連携し、守門・入広瀬地区第二層協議体を立ち上げ、高齢者の生活課題について協議しました。
- ・守門・入広瀬地区において、住民参加による高齢者支援を目的とした「高齢者の地域資源情報誌」を作成しました。

イ・元気づくりサポーターの運動指導技術向上と高齢者のための運動教室開催に力をいれました。

a 元気づくりサポーターフォローアップ講習

	期 日	内 容	参加人数
第1回	6月29日	講義「介護予防・高齢者の身体機能・転倒予防について」 講師 ほんだ病院 作業療法士 櫻井利成子 氏	31人
第2回	7月25日	講義「高齢者の運動指導のポイント・注意点・実技指導」 講師 ほんだ病院 作業療法士 櫻井利成子 氏	31人

b 元気づくりサポーター座談会

期 日	内 容	開催場所	参加人数
7月6日	・大白川運動教室開催に向けて ・概要説明 ・話し合い（日時、当番、内容等） ・関係書類について	広神老人福祉センター	10人
7月6日	・大白川運動教室関係者会議課題の整理	広神老人福祉センター	5人
11月24日	・脳はつらつ教室実施について ・概要説明	広神老人福祉センター	13人

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い（日時、内容等）</li> <li>・関係書類について</li> <li>・大白川運動教室の様子</li> </ul>		
--	---	--	--

c 元気づくりサポーターの派遣（大白川運動教室）

- ・派遣期間：8月2日～10月25日（週1回） 合計11回  
（9月20日、台風により休止）
- ・会 場：山菜会館
- ・参加者数：延べ33人

d 元気づくりサポーターの派遣（脳はつらつ教室）

- ・派遣期間：12月1日～3月31日（各団体月1回） 合計33回
- ・団 体 数：9団体
- ・参加者数：延べ266人

ウ 関係者会議の参加協力

a 魚沼市地域ケア推進会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	8月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度地域支援事業実績報告</li> <li>・生活支援体制整備事業の進捗状況報告</li> <li>・地域課題</li> </ul>	市役所本庁舎

b 事務局会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくりサポーターの活動について</li> <li>・地域の運動教室の継続実施及び立ち上げ等</li> <li>・令和4年度事務局会議について</li> </ul>	市役所本庁舎
第2回	5月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくりサポーターの活動について</li> <li>・地域の運動教室の継続実施及び立ち上げ等</li> <li>・令和4年度事務局会議について</li> </ul>	市役所本庁舎
第3回	6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくりサポーターの活動について</li> <li>・第2層協議体について</li> </ul>	市役所本庁舎
第4回	8月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくりサポーターの活動について</li> <li>・第2層協議体について</li> </ul>	市役所本庁舎
第5回	8月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2層協議体について</li> </ul>	市役所本庁舎
第6回	9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2層協議体について</li> <li>・事務局会議の持ち方</li> </ul>	市役所本庁舎
第7回	10月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険法、地域支援事業・生活支援体制整備事業について</li> </ul>	守門健康センター

第8回	11月21日	・北部圏域の資源マップ(案)について ・第2層協議体の進め方について	市役所本庁舎
第9回	1月23日	・北部圏域の資源マップ(案)について ・第2層協議体の進め方について	市役所本庁舎
第10回	3月10日	・北部圏域の資源マップ(案)について ・市報の折込に向けた今後の進め方について	市役所本庁舎

○ 北部圏域第2層協議体

第1回	10月4日	・介護保険法、地域支援事業、生活支援体制整備事業について	守門健康センター
第2回	11月25日	・地域資源リストについて	守門健康センター
第3回	12月26日	・地域資源リストについて	守門健康センター
第4回	1月23日	・高齢者の地域資源情報誌(案)について	守門健康センター
第5回	2月1日	・高齢者の地域資源情報誌確認	守門健康センター

○ 認知症総合支援事業 情報交換会

期 日	内 容	開催場所
4月14日	・関連する事業の確認 ・情報共有	広神支所
5月10日	・認知症サポーター養成講座 ・認知症高齢者と関係者の情報共有会	七日市・七日市新田集落センター
8月4日	・認知症高齢者と関係者の情報共有会	広神支所

○ 認知症初期集中支援チーム検討委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	6月3日	・令和3年度認知症初期集中支援チーム実績報告 ・令和4年度認知症初期集中支援事業実施計画	ZOOM
第2回	9月29日	・認知症初期集中支援チーム実績、活動状況について ・来年度に向けて検討	小出ボランティアセンター



f 地域支援事業

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月6日	・令和4年度事業計画の情報共有及び協力	市役所本庁舎
第2回	9月15日	・地域支援事業の実施状況報告・情報交換	市役所本庁舎
第3回	11月15日	・研修会「認知症の理解」	市役所本庁舎

【事業の成果】

北部圏域に第2層協議体を設置し、地域住民と関係機関が協働で、高齢者の暮らしを支えるための「高齢者地域資源情報誌」を作成しました。

元気づくりサポーターの指導力向上のため、高齢者の身体機能理解を重点にフォローアップ講習を開催しました。また、元気づくりサポーターが主体的に活動できるようマニュアルを作成し、運動教室運営をサポートしました。

大臼川運動教室・脳はつらつ教室へ元気づくりサポーターの派遣を行い、地域住民の健康保持と介護予防を促進しました。

【課題・方針】

地域には様々な社会資源がありながら、情報が点在しており分かりにくいことが課題です。高齢者が抱える生活課題に対応する社会資源の情報を、関係機関や地域団体等の参画を得て、見える化を図ります。

元気づくりサポーターの高齢化が進んでいるため、今後の活動について検討が必要です。アンケートで、一人でも活動できると答えたサポーターと、運動教室を開催したい団体をマッチングし、いつまでも生き生きと暮らせる環境づくりを推進します。

公益受託事業

単位：円

科 目	生活支援コーディネート		
	予算	決算	差異
受託金収入	5,890,000	5,690,000	0
事業活動収入計 (1)	5,890,000	5,690,000	0
人件費支出	4,887,000	4,887,000	0
事業費支出	1,049,000	926,800	122,200
事務費支出	479,000	55,700	423,300
事業活動支出計 (2)	6,415,000	5,869,500	545,500
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 725,000	△ 179,500	△ 545,500
事業区分間繰入金収入	725,000	179,500	545,500
その他の活動収入 計 (7)	725,000	179,500	545,500
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	725,000	179,500	545,500
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(4) 軽度生活支援事業（市から受託）

自立した在宅生活の継続を図るため、在宅で日常生活上の援助を必要とする、概ね65歳以上の高齢者世帯等に対して、軽易な日常生活上の援助を行いました。

利用者数は全体で前年比△39.8%、派遣回数は全体で前年比△41.2%、と大きく減少しています。

① 生活援助事業（訪問介護事業所）

軽度生活支援（生活援助）派遣実績

	本機地			守門・入広瀬			全体		
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数	56	146	△ 90	12	25	△ 13	68	171	△ 103
派遣回数	191	605	△ 314	52	85	△ 33	243	590	△ 347
派遣時間	177.5	441.5	△ 264.0	52.0	85.0	△ 33.0	230	527	△ 297.0

【事業の成果】

介護保険を利用するほどではなく、軽易な日常生活の支援があれば現状を維持できる方に、在宅生活の継続を図るためヘルパーが訪問することで、状態の維持を保つことが出来ました。

【課題・方針】

現状を維持しながら在宅生活が継続できるように、自立支援、重度化防止に向けた取り組みを継続していきます。

② 除害援助事業

ア 利用実績

地区	利用件数		合計	前年度利用件数		合計
	屋検査	門払い		屋検査	門払い	
堀之内	17件	27件	44件	16件	22件	38件
小出	13件	21件	34件	17件	19件	36件
瀧之谷	8件	25件	33件	14件	22件	36件
広神	11件	26件	37件	12件	24件	36件
守門	29件	46件	75件	23件	39件	62件
入広瀬	10件	18件	28件	11件	19件	30件
合計	88件	163件	251件	93件	145件	238件

イ 四人作業登録者数

地区	登録者数		合計	前年度登録者数		合計
	屋検査	門払い		屋検査	門払い	
堀之内	20件	23件	43件	17件	20件	37件
小出	17件	20件	37件	19件	17件	36件
瀧之谷	8件	27件	35件	12件	26件	38件
広神	20件	28件	48件	17件	24件	41件
守門	34件	41件	75件	28件	36件	64件

入広瀬	9件	13件	22件	10件	16件	26件
市外	2件	1件	3件	3件	1件	4件
合計	110件	153件	263件	106件	140件	246件

ウ 豪雪災害対策に係る除雪業務【屋根雪除雪または門払い 1回のみ】

(12月20日~29日)

	堀之内	小出	湯之谷	広神	守門	入広瀬	合計
利用件数	37件	30件	29件	37件	69件	23件	225件

【事業の成果】

高齢者世帯等要援護世帯を対象に屋根雪除雪と門払いの支援を行い、冬期間在宅での自立した生活の継続につながりました。また、豪雪による家屋倒壊等災害被害の防止が出来ました。

【課題・方針】

在宅生活が継続できるよう現状の取り組みを継続するとともに、降雪量によりサービスの需給に影響が生じる事業のため、大雪時でも迅速に対応が出来るよう、関係機関と調整を図ります。

公益受託事業

単位:円

科目	除雪援助			生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	9,500,000	11,264,382	△ 1,764,382	1,046,000	638,015	407,985	10,546,000	11,902,397	△ 1,356,397
事業活動収入計(1)	9,500,000	11,264,382	△ 1,764,382	1,046,000	638,015	407,985	10,546,000	11,902,397	△ 1,356,397
人件費支出	9,422,000	9,411,849	4,151	1,046,000	638,015	407,985	10,468,000	10,055,864	412,136
事業費支出	78,000	77,720	280	0	0	0	78,000	77,720	280
事業活動支出計(2)	9,500,000	9,495,569	4,431	1,046,000	638,015	407,985	10,548,000	10,133,584	412,416
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	1,768,813	△ 1,768,813	0	0	0	0	1,768,813	△ 1,768,813
当期資金収支差額合計 (1)-(3)+(6)+(9)-(10)	0	1,768,813	△ 1,768,813	0	0	0	0	1,768,813	△ 1,768,813

### Ⅲ. 収益事業

#### 1. 会館運営事業

会館の利用許可及び施設の維持管理に関する業務を行いました。

##### (1) 小出ボランティアセンター

貸館の状況は、Ⅱ公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

##### (2) 広神老人福祉センター

貸館の状況は、Ⅱ公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

##### (3) 守門健康センター

貸館の状況は、Ⅱ公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

#### 【事業の成果】

『Ⅱ. 公益事業』『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

#### 【今後の課題】

『Ⅱ. 公益事業』『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

会館運営事業

単位：円

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門健康センター		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
事業収入	1,180,000	983,415	196,585	1,000	0	1,000	11,000	5,850	5,150
その他の事業収入	2,000	0	2,000	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計 (1)	1,182,000	983,415	198,585	1,000	0	1,000	11,000	5,850	5,150
事業費支出	1,145,000	946,415	198,585	1,000	0	1,000	11,000	5,850	5,150
事務費支出	37,000	37,000	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計 (2)	1,182,000	983,415	198,585	1,000	0	1,000	11,000	5,850	5,150
当期資金収支差額合計 (1)-(2)+(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	計		
	予算	決算	差異
事業収入	1,192,000	989,265	202,735
その他の事業収入	2,000	0	2,000
事業活動収入計 (1)	1,194,000	989,265	204,735
事業費支出	1,157,000	952,265	204,735
事務費支出	37,000	37,000	0
事業活動支出計 (2)	1,194,000	989,265	204,735
当期資金収支差額合計 (1)-(2)+(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

## 【資料編】

### 1. 会 員

(1) 会員数 一般会員 8,209人 特別会員 298人

### 2. 役員・評議員・委員会・部会

(1) 役員（理事6名以上 13名以内・監事2名以内）

任 期 令和3年6月11日～令和5年6月定例評議員会終結の時まで

役職名	氏 名	選 出 区 域 等	備 考
会 長	穴沢 邦男	魚沼市内区域	地域の代表
副会長	中村由美子	魚沼市内区域	地域の代表
副会長	森山 正昭	魚沼市内区域	地域の代表
理 事	津山 幸男	魚沼市内区域	地域の代表
理 事	高橋 富榮	地域の福祉団体	魚沼市民生委員児童委員協議会 令和4年12月20日まで
理 事	佐藤 泰吾	地域の福祉団体	魚沼市民生委員児童委員協議会 令和4年12月21日から
理 事	桜井 忍	地域の福祉団体	魚沼市ボランティア連絡会
理 事	吉田 正樹	魚沼市内社会福祉法人	魚沼養生福祉会
理 事	間嶋 信好	魚沼市内社会福祉法人	魚沼福祉会
理 事	戸田千穂子	行政職員	魚沼市市民福祉部 副部長
監 事	滝澤 博忠	学識経験者	
監 事	滝澤 直行	計算書類を監査し得る者	

(2) 評議員（7名以上 20名以内）

任 期 令和3年6月11日～令和7年6月度定例評議員会終結の時まで

氏 名	区 域、所属機関団体等	備 考
下村真由美	堀之内コミュニティ協議会	
滝沢 茂	宇賀地コミュニティ協議会	
小岩 妙子	小出北部コミュニティ協議会	
小林 進	佐梨地区コミュニティ協議会	
三友 武久	湯之谷地区自治会長会	
酒井 豊	広神地区区長会	
大塚 安弘	広神地区区長会	
壺井 鉄夫	守門地区区長会	
渡井 宏一	入広瀬区長会	
知久井善之	新潟県司法書士会	

星野 正人	魚沼市老人クラブ連合会	
星 京子	魚沼市食生活改善推進員協議会	
中川 久幸	魚沼ものづくり振興協議会	
横山美智子	魚沼市商工会連絡協議会	

(3) 委員会、部会

① 企画調整委員会

任 期 令和3年6月11日～令和5年6月定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名	備 考
委 員	穴沢 邦男	
委 員	中村由美子	
委 員	森山 正昭	

② 評議員選任・解任委員会（4名）

任 期 令和3年6月11日～令和7年6月定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名	備 考
委 員	佐藤ひろみ	
委 員 長	大淵 好文	
委 員	瀧澤 博忠	
委 員	下村 耕平	

③ 生活福祉資金貸付調査委員会委員（8名）

任 期 令和4年6月1日～令和5年5月31日

役職名	氏 名	役職、所属機関団体等	備 考
委 員 長	佐藤ムツエ	湯之谷地区民児協	令和4年11月30日まで
委 員	関 誠	湯之内地区民児協	令和4年11月30日まで
委 員	星野 和幸	湯之内地区民児協	令和4年12月1日から
委 員	鈴木 虚子	小出地区民児協	
委 員	星 ミヨシ	湯之谷地区民児協	令和4年12月1日から
委 員	杉田 榮智	広神地区民児協	
委 員	深藤 松永	守門地区民児協	令和4年11月30日まで
委 員	猪狩 敏男	守門地区民児協	令和4年12月1日から
委 員	松尾美佐恵	入広瀬地区民児協	令和4年11月30日まで
委 員	浅井 重吉	入広瀬地区民児協	令和4年12月1日から
委 員	赤澤 孝幸	市福祉支援隊	
委 員	下村 耕平	魚沼市社会福祉協議会	

④ 第三者委員（3名）

任 期 令和4年6月1日～令和6年5月31日

氏 名	役職、所属組織団体等	備 考
和久井 善之	本会評議員	
瀧澤 博忠	本会監事	
青木 悟	学識経験者	

⑤ 法人後見事業運営委員会委員（7名）

任 期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	黒岩 海映	新潟県弁護士会 高齢者・障害者の財産管理・権利擁護支援センター	弁護士
副委員長	枝村 英一	公益社団法人 新潟県社会福祉士会	社会福祉士
委 員	岡 丈祐	成年後見センター リーガルサポート 新潟県支部	司法書士
委 員	樋月 原	小千谷市魚沼市医師会	医師
委 員	佐藤由紀子	魚沼市市民福祉部	福祉支援課 障害福祉課長
委 員	茂野 孝	魚沼市市民福祉部	介護福祉課長
委 員	下村 耕平	魚沼市社会福祉協議会	事務局長

3. 職員

（令和5年3月末現在 145人 内訳 職員・准職員71人、臨時職員等74人）

・事務局長	1人	・住宅介護支援部門	8人
・総務課	9人	・通所介護部門	58人
・地域福祉課	27人	・訪問介護部門	21人
・介護福祉課	4人	・受託事業部門	17人

#### 4. 会議

##### (1) 理事会

	期 日	議案内容等	開催場所
第1回	5月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長諸報告、会長専決事項報告</li> <li>・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出決算の承認について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定時評議員会の招集について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第2回	8月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長諸報告、会長専決事項報告</li> <li>・在宅介護支援センター湯之谷の移転候補先の検討について</li> <li>・堀之内社会福祉センターの再編について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第3回	12月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長諸報告、会長専決事項報告</li> <li>・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第1次)(案)について</li> <li>・堀之内社会福祉センターの無償譲渡計画について</li> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事候補者の推薦について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会臨時評議員会の招集について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第4回	3月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長諸報告、会長専決事項報告</li> <li>・基本財産の処分について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第2次)(案)について</li> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第1次発展・強化計画(案)について</li> <li>・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画(案)及び令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算(案)について</li> <li>・役員等賠償責任保険の内容の決定について</li> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事務局長の任命について</li> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会臨時評議員会の招集について</li> </ul>	小出ボランティアセンター



## (2) 評議委員会

	期 日	議 案 内 容 等	開 催 場 所
定時	6月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長啓報告</li> <li>・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出決算の承認について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第1回臨時	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長啓報告</li> <li>・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第1次)(案)について</li> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事の選任について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第2回臨時	3月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長啓報告</li> <li>・基本財産の処分について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第2次)(案)について</li> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第1次発展・強化計画(案)の策定について</li> <li>・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画(案)及び令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算(案)について</li> </ul>	小出ボランティアセンター

## (3) 委員会・部会

## ① 企画調整委員会

	期 日	内 容	開 催 場 所
第1回	5月14日	・社会福祉法人魚沼市社化福祉協議会第1回理事会議案について	小出ボランティアセンター
第2回	6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堀之内社会福祉センターの再編について</li> <li>・在宅介護支援センター湯之谷の移転候補先の検討について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第3回	7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人魚沼市社化福祉協議会第2回理事会議案について</li> <li>・ハラスメントの事実認定について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第4回	11月24日	・社会福祉法人魚沼市社化福祉協議会第3回理事会議案について	小出ボランティアセンター

第5回	2月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護支援センター湯之谷の移転について</li> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第1次発展・強化計画(案)の策定について</li> <li>・令和5年度職員体制について</li> </ul>	小出ボランティアセンター
第6回	3月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第4回理事会議案について</li> </ul>	小出ボランティアセンター

② 評議員選任・解任委員会

	期日	内 容	開催場所
		開催なし	

